観光まちづくり学会誌

Journal of the Society of Tourism and Community Design

Vol. 10

March, 2013

巻 頭 言 震災復興と観光まちづくり

長谷川 明

特別寄稿 三陸復興国立公園の創設と東北海岸 トレイルに関する取り組みについて

高橋 瑛子

シリーズ (3) ニューアーバニズム "特に何も無い"心地よい盛岡の日常

中澤 昭典

細野 昌和

観光ラフティングによる北海道ニセコ 尻別川の地域ブランド化に関する研究 ―アウトドアスポーツ・ツーリズムに関する基礎研究— 安藤 昭・原田 房信

研 究 ノ ー ト 熊本と静岡の広域観光連携私案:

新田 時也

観光まちづくり学会誌 目次 第 10 号 平成 25 年 3 月発行

巻頭言	震災復興と観光まちづくり			
			長谷川明	2
特別寄稿	三陸復興国立公園の創設と東北海岸	불		
	トレイルに関する取り組みに	ついて		
			高橋瑛子	3
シリーズ(3)) ニューアーバニズム			
	"特に何も無い"心地よい盛岡	の日常		
			中澤昭典	9
論 文	散策観光における Wi-Fi を活用した	た情報提供のあり	方	
	- 北上川親水散策観光を想定	して-		
		•••••	細野昌和	11
	観光ラフティングによる北海道ニャ	Z コ		
	尻別川の地域ブランド化に関す	ける研究		
	- アウトドアスポーツ・ツ	ノーリズムに関する	る基礎研究 -	
		安藤昭	引・原田房信	20
研究ノート	熊本と静岡の広域観光連携私案:			
	- 水前寺,人吉,天草 -			
			新田時也	34
学会誌 10 年 <i>0</i>	つあゆみ			38
お知らせ	活動報告			41
	事務局だより		•••••	57
	投稿規定・執筆要領・投稿整理票		•••••	58
	学会会則		•••••	63
	学会賞表彰規定		•••••	68
	役員名簿・学会委員会		•••••	69
	法人会員名簿		•••••	71
	観光まちづくり学会研究発表会開係	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		72



震災復興と観光まちづくり

多くの人命と財産を失った東日本震災からまもなく 2 年が経過しようとしています。厳しい条件の中で、被災者が元のくらしや活動を取り戻そうとしている努力が度々報道されています。それぞれの活動を生み出す力は、地域の人々の力が源になっています。産業復興のための活動、地域のコミュニティを復興させる活動など、人の力の偉大さを感じています。災害は、たびたびやってきては、命を奪うだけではなく、人々の築きあげたハードやソフトを破壊してきました。人の心を傷つけてきたように感じています。しかし、そのたびに人間は立ち上がって、考え、行動し、元のくらしを取り戻してきました。取り戻す以上に発展させてきた歴史を持っています。被災した地域のうち三陸地方の主産業は、漁業と観光業です。復興には、これらの産業の復興が重要な課題となっています。社会の活動が多くの産業の連携によって成長してきたことを考えれば、地域のこれらの産業も他の産業と一緒に復興していく必要があります。先日、宮城県の松島と岩手県の北山崎を訪ねる機会がありました。松島は、たくさんの観光客を迎えてにぎやかな観光地に戻りつつあることを感じました。しかし、岩手県の北山崎、ここは陸中海岸国立公園の北部に位置するところで断崖絶壁からの展望がすばらしい景勝地ですが、観光客はまばらで、まだまだもとに戻っていないことを感じました。できることは限られていますが、みなさんに美しい壮大な景観を伝え、私は学生を連れて行くことはできます。

津波で大被害を受けた JR 八戸線が、昨年全線復旧しました。土木構造物の災害対策を検討する際、発生頻度を 100 年で考えるのか 1000 年なのか、またそれ以上を想定するのか課題となっています。現実的には、ハードは 100 年程度の災害対象で、それ以上の規模の災害には、ハードとソフトで、つまり最悪の場合は、財産を失うことになるかもしれないが、人命を守るために避難で対応するのが妥当と、私は考えています。 JR 東日本では、地震や津波発生時の避難ルートを多数設定したほか、車内からの避難梯子、避難ルート看板、避難口案内板および避難階段を整備し高台への避難体制を整えています。避難訓練も実施し、先日発生した地震の際には、これらの仕組みが実際に機能し、効果を発揮することができています。つまり、ハードとしてはこれまでのインフラの復旧を行って、ソフトとして避難ルート整備を考え、関連する事業を実施し予想される災害に備えています。被災者から見れば、遅々として進まない復興と受け止められている部分もあるようですが、私は着実に前進していると思っていますし、着実に前進しなければならないと思っています。

自らが行動することで、復興に役割を果たすことも見受けられます。仮設住宅を訪ねて得意のカメラで被災者のくらしの写真を撮って、それを切手の貼った絵はがきにしてプレゼントしている退職教員がいます。絵はがきを受け取った被災者に、離れた人々との交流を続けられるように考えて活動しているとのことです。本会会員におかれても、それぞれの立場で復興に向けた活動をされているものと思います。みなさんとともに、観光とまちづくりを通して、地域の復興に役立ちたいと考えています。

三陸復興国立公園の創設と 東北海岸トレイルに関する取り組みについて

環境省 八戸自然保護官事務所 自然保護官 高橋 瑛子

1. 八戸自然保護官事務所への着任

私が勤務している八戸自然保護官事務所は、昨年の4月に開設された新しい事務所です。「自然保護官事務所」とは、全国約80か所に置かれている環境省の出先の事務所です。そこでは、職員(自然保護官=レンジャー)が国立公園の管理や野生生物の保護等の業務を行っています。

昨年の3月までは岡山市にあります中国四国地 方環境事務所に勤務していました。そこでは瀬戸 内海国立公園や大山隠岐国立公園を担当していま した。3月末の岡山はそろそろ桜が開花する頃で、



八戸自然保護官事務所 開所式

八戸への引越前日は、友人たちと公園でピクニックをしたほどのぽかぽか陽気でした。しかし、異動先の八戸で待っていたのは雪景色でした。宿舎に着くと、風呂場の給湯器が故障していることが判明しました。最寄の銭湯へは車がなければ行けないため、途方に暮れていたとき、ガス会社の方がお知り合いの中古車店まで送迎を依頼してくださいました。さらに、中古車店では住民票などの手続きのために市役所へ連れて行ってくださり、食糧の買い出しのためにスーパーにまで送っていただきました。幼い頃から引っ越しをたくさん経験してきましたが、初対面の私に対してここまで親身になって接してくださった地域は初めてでした。また、八戸市役所を訪ねると、課員のように職員の席に座らせてくれます。地元の民宿の女将さん、漁師さん、町内会長さんたちもまるで娘や孫に接するように話してくださいます。八戸の気温は低くても、八戸のみなさんの心はあたたかい、と感動しました。

2. 種差海岸指定の経緯

八戸には国立公園がありませんが、なぜ国立公園を管理するための自然保護官事務所が置かれたのでしょうか。皆様の中ではご存知の方も多いと思いますが、今年、八戸に新しい国立公園が指定される予定です。八戸自然保護官事務所は、種差・階上海岸と階上岳を「三陸復興国立公園」として指定し、地域振興、震災からの復興へ貢献することを目的の一つとして開設された事務所です。

種差海岸は、震災前の平成 22 年 10 月に、環境省による国立・国定公園総点検事業において、国立公園の拡張候補地として選定されていました (1)。岩礁・砂浜・草原・松林などの変化に富んだ海食地形と、太平洋と

太平洋と一体となった優れた海岸・海域景観、南方・北方系、岩礁・砂丘・湿地性の多種多様な植物の生育、ウミネコの繁殖を間近で観察できる国内唯一の場所である蕪島。種差海岸のこのような自然景観は、国内において傑出性が高い地域として抽出されました。さらに、国立公園指定に向けての地域の強い意向と熱意、適切な利用のあり方、行き届いた管理体制なども要因となって国立・国定公園の新規指定・大規模拡張候補地(全国で 18 地域)に選定され、まさに指定への作業が進められようとしていました。そんな矢先に東北地方太平洋沖地震が発生しました。









種差天然芝生地

大須賀浜

蕪島

スカシユリ

3. 三陸復興国立公園の創設

東北地方太平洋沿岸地域には美しい自然景観と、世界的にも優れた漁場が広がっています。この自然の恵みが地域の産業を支え、人々のくらしを実り多いものにしてきました。一方で、繰り返される津波、「やませ」による冷害など、厳しい自然環境とともに長い年月をくらしてきた地域であり、自然の脅威や厳しさと共存していくために、多くの知恵・技術・文化が育まれてきました。例えば、八戸には豊かな海の恵みにより育まれた漁業の歴史と技術、いちご煮などの食文化、朝市・銭湯などの早朝文化があり、冷涼な気候などの厳しい自然に培われたせんべい汁、ひっつみなどの雑穀文化があります。

東北地方太平洋沖地震による大規模な地震・津波・地盤沈下は、八戸を始めとしたこの地域の多くの人々の生命や財産のみならず、自然環境にも大きな影響を与え、自然は時として大きな脅威となりうることを私たちに再認識させました。また、脅威の側面を持つ自然との向き合い方、人と自然の共生のあり方を考え直す転換点になりました。

これからも繰り返されるであろう地震・津波に備え、自然に配慮し、自然の回復力を活かし、自然とともに歩む復興を進めること、そして、持続可能な地域をつくり、豊かな自然と地域のくらしを未来に引き継ぐことが、いま、求められています。 このような背景から、環境省は2011年5月18日に発表した「東日本大震災からの復興に向けた環境省の基本的対応方針」(2)の中で、東北地方太平洋沿岸の自然公園を三陸復興国立公園として再編成することを通じて復興に貢献していくことを公表しました。

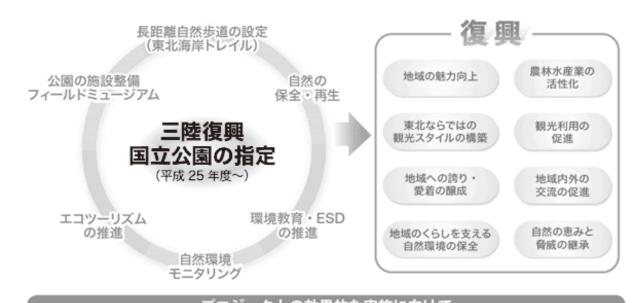
同年7月29日に東日本大震災復興対策本部がとりまとめた「東日本大震災からの復興の基本方針」(8月11日に一部改定された)(3))には、三陸復興国立公園に関する項目として、陸中海岸国立公園等の既存の自然公園を再編し三陸復興国立公園(仮称)とすることが記載されました。

同年8月3日に、中央環境審議会に「三陸地域の自然公園等を活用した復興の考え方について」を諮問し、2012年3月9日付けで答申を得ました(4)。環境省ではこの答申を踏まえるとともに、環境省として実施する事業内容及び想定されるスケジュールを簡潔に整理したものを、「三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興のビジョン(5)」として、2012年5月7日に公表しました。

4. 三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興

自然の恵みと脅威の双方を理解し、「自然と共に生きる」地域として復興するために、グリーン復興の基本理念は「国立公園の創設を核としたグリーン復興 -森・里・川・海が育む自然とともに歩む復興ー」とし、基本方針は、①自然の恵みの活用、②自然の脅威を学ぶ、③森・里・川・海のつながりを強める、の3点としました。

この基本理念と基本方針のもとに、環境省は三陸復興国立公園の創設を始めとした7つのグリーン復興 プロジェクトを推進しています(図1 参照)。



プロジェクトの効果的な実施に向けて

・地域の要望を聞きながら推進

参加・協働型の体制の構築

- 県・市町村の復興計画との調和、他省庁の施策との連携
- 「いわて三陸ジオパーク」などの地域の取組との連携
- ・ブロジェクト推進のための情報共有・連携の場の設定
- ・国内、世界に情報発信

図1 グリーン復興プロジェクトが目指すもの

「三陸復興国立公園」の指定を検討する地域は、青森県八戸市の蕪島から宮城県石巻市・女川町の牡鹿半島までとその周辺部の自然公園で、種差海岸は本国立公園の北の玄関口となる場所に位置しています。 本国立公園は、自然の恵みと脅威、人と自然との共生により育まれてきた暮らしと文化が感じられる国立公園として、持続可能な社会への復興に貢献することを目的としています。 ここからは、その中の「東北海岸トレイル」に関する 取り組みを御紹介いたします。

5. 東北海岸トレイル

東北海岸トレイルとは、東北地方太平洋沿岸地域に設定するトレイルコースのことです。トレイルとは、森林や原野、里山などにある「歩くための道」を指す言葉です。歩くスピードで旅することで、車の旅では見えない風景、歴史、風俗や食文化などの奥深さを知り、体験する機会を提供するものです。欧米には、総距離数千キロにもなるロングトレイルがいくつも整備され、世界中から多くの人たちが「歩く旅」を楽しむために訪れています。



図2 東北地方太平洋岸の自然公園の再編成イメージ

東北海岸トレイルは、青森県八戸市蕪島から福島県相

馬市松川浦までをつなぎます。コースの中には、地域を代表するすぐれた自然や景観地、人々の暮らしや文化を感じられるような集落など、歩いて興味をそそられる地点の通過を想定しています。具体的には、 無島神社のような八戸の文化を体感できる場所、種差天然芝生地のような優れた自然景観を有する場所、 市場や漁港など自然の恵みや人とのつながりを体感できる場所などです。

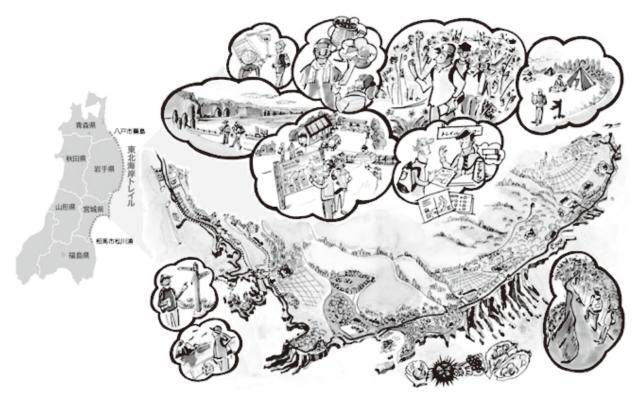


図3 東北海岸トレイルイメージ

多くの利用者に愛されるトレイルになるためには、まず地域の方々に愛されるトレイルでなければなりません。ロングトレイルの利用が盛んな欧米では、地元の住民たちもトレイルを歩く人たちをもてなし支援する独特のトレイル文化が成熟し、標識や施設などの整備や運用システムなども充実しています。

東北海岸トレイルを、地元の方々に愛され、利用者との温かい交流があふれる豊かな道とするために、環境省では、平成24年12月からトレイルに関する意見交換会等を各地で開催しています。八戸市内では、現在(2月)までに意見交換会と勉強会を開催しました。意見交換会では、関係自治体や地元活動団体など約60名の多くの方々にお集まりいただきました。ロングトレイルの魅力や東北海岸トレイルが目指すものについて環境省からご説明した後、ワークショップ形式でご意見をお伺いしました。

ワークショップでは、1班 6 名ほどのグループに分かれ、東北海岸トレイルを設定するにあたっての地域の「魅力」と「課題」、ハイカーたちに楽しんでもらうために「自分たちができること、やりたいこと」、トレイルを利用するにあたっての「ルール」についてのご意見を付箋に書き、模造紙に貼っていきました。私が参加した班では、模造紙の隙間がなくなるほどの付箋が貼られました。その中でも「魅力」と「自分たちがやりたいこと、できること」の付箋が多く見られました。例えば、トレイルを歩く人たちにこの地域の自然の恵みを体感してもらうため、漁船での舟釣り体験を実施してみたい、新鮮な魚介類を使った料理を食べてもらいたい、芝生地の美しい風景を活かして「種差ウェディング」を行いたい、など。このような楽しいプログラムが地元で活発に行われるトレイルは、ハイカーにとって非常に魅力的なものです。

このようなプログラムやイベントの実施に限らず、地元の方々にもっと簡単に取り組んでいただける活動がたくさんあります。例えば、ルート沿いの売店での休憩スペースの提供、トイレの提供、地元企業や事業所などによるルートの清掃活動などです。さらには、トレイル利用者に地元の見所スポットやおいしい食べ物など地域の魅力を伝えていただくことだけでも、地域一体となったトレイル運営につながると考えています。

人と自然、人と人との交流あふれる持続可能で魅力的なトレイルとなるよう、今後は地域ごとに地元関係者のご意見を聞きながらルートを設定していきます。そして、平成25年度上旬での、八戸市〜岩手県

山田町の一部路線の決定及び開通を目指します。

2回目のワークショップの最後に、参加者の1名からとても嬉しい声を聞くことが出来ました。「おらほ("私たち"という意味の南部弁)の道になるのだから、みんなで歩いてルートをつくろう。」

レンジャー(自然保護官)にとって、地元 のみなさんに「自分たちの道、自分たちの公園」



第1回トレイル勉強会の様子(2013年2月1日)

と胸を張っていただけることほどの幸せはありません。これまでもレンジャーは、将来の世代に豊かな自然環境を残し、楽しんでもらうために、いつでも地域と一体となって取り組んできました。

八戸はこれから国立公園として指定される希望でいっぱいの地域です。何十年、何百年先にも、地元の みなさんが「おらほの国立公園」と自慢する声が聴けるよう、世代やグループを超えたつながりを作り、 地域のみなさんと一緒に悩みながら、国立公園作りを行っていきたいと思っています。

(2013.2.26 受理)

引用・参考文献

(1)環境省:平成22年10月4日中央環境審議会自然環境部会自然公園小委員会配付資料(別紙5国立・ 国定公園総点検事業において抽出された新規指定・大規模拡張候補地)

http://www.env.go.jp/park/topics/review/attach/jigyo/06.pdf

(2) 環境省:東日本大震災からの復興に向けた環境省の基本的対応方針、

http://www.env.go.jp/jishin/kihon-hoshin.pdf、2012.8

(3) 東日本大震災復興対策本部:東日本大震災からの復興の基本方針、

http://www.reconstruction.go.jp/topics/110811kaitei.pdf、2012.8

- (4)環境省報道発表資料:-平成24年3月9日-中央環境審議会自然環境部会の答申について(お知らせ)、http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=14942、2012.8
- (5) 環境省報道発表資料:-平成24年5月7日-三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興のビジョンの策定について(お知らせ)、

http://www.env.go.jp/ press/ press.php?serial=15188、2012.8

"特に何も無い"心地よい盛岡の日常

中澤昭典

「盛岡は特に観る所が無いんですよ」

盛岡の人がお客さんに話す言葉である。

「盛岡はいい街ですね」

盛岡を訪れる人たちが、お世辞でも言ってくれる言葉である。

「特に何もない」と「いい街」。これらは一見矛盾するように聞こえるかもしれないが、実に的確に盛岡 の良さを言い表していると私は思う。

それでは、盛岡の良さとは何だろう?

美しい町並みがあるか? 名所旧跡があるか? 凄い観光施設があるか? 自慢できるような文化施設があるか? 他から買い物に来るような商店街やショッピングセンターがあるか? いずれも "否"である。

視点を変えて、安心安全、バリアフリーのまちづくりがなされているか? これも "NO"である。車 椅子がすれ違える歩道は県庁前の中央通りだけで、本町、紺屋町、鉈屋町、上田通りなどの古い市街地は 全く歩道のないところに車やバスが往来し、前と後ろに目が付いていないと安心して歩けない。

では何が「いい街ですね」と言わせているのだろうか。

私は少し前まで、徒歩か自転車で通勤し、勤め帰りに 近所の小さな本屋 "みみずく書房" に寄って立ち読みしたり、時々はちょっと遠回りして八幡町の裏の路地や横丁の "小さなスナック" や "赤提灯" に寄り道をして帰ったものだ。

休日には市街地の真ん中を流れる中津川沿いを散歩しながら、喫茶店の"ヌック"や"クラムボン"でコーヒーを飲みながら新聞や週刊誌に目を通す。

時々、上ノ橋や富士見橋の上から、近所の下小路中学校の生徒とすれ違いながら、鮭の遡上眺めたり白鳥 に餌をやる老人の姿に目をやりながら、遠くに見える「岩手山に雪が降ったか・・・」などと、何となく 感動もなく眺める。

こういう日常はあまりに身近にあるため、私にとっては水や空気のようなもので、特にその価値を認識

していなかった。たぶん大多数の盛岡市民が、こ の「心地良い日常」を深く認識していないのでは ないだろうか。だから「特に何もない」という言葉が出てくるのだと思う。

ところが少し前に、近所の"みみずく書房"に 突然閉店されてしまった。私は愚かにも近所の"み みずく書房"は本の数が少ないなどと内心文句を 言いながら立ち読みで済ませ、本を買うときには 郊外の大型チェーン店やアマゾンに注文していた



シリーズ(3) ニューアーバニズム

のであった。近くの本屋がなくなって初めてその存在価値に気が付く愚かさを悟ることになった。この界限にとって"みみずく書房"は水や空気のようにありふれたものではなくて、水や空気のように大切でかけがえのないものだったのだ。

さて、盛岡を訪れる人々は、旅行或いは観光という非日常の時間の中で、盛岡人が"特に何もない"と言う心地良い盛岡の日常を疑似体験することにより、「いい街ですね」という言葉が出てくるのではないだろうか。「特に観るものが何もない」と言うことは、「びっくりするような騒々しいことが無い」「心地良い日常がある」と言うことなのだと思う。

盛岡の心地良い日常を守るため、私は最近本はアマゾンで検索して近くの本屋さんに注文することにしている。

(2012.8.17 受理)





散策観光における Wi-Fi を活用した 情報提供のあり方 ~ 北上川親水散策観光を想定して ~

細野 昌和

正会員 博士 (情報科学) 北海商科大学教授 商学部観光産業学科 (〒062-8607 札幌市豊平区豊平 6-6-10)

E-mail: hosono@hokkai.ac.jp

近年、着地型観光の見直しなど、観光現場における観光客の視線からその行動を支援するための情報の必要性が再認識されてきている。従来より、観光行動の場面における情報提供には、標識やサインまたパンフレットなどが利用されてきたが、現在ではモバイル ICT の活用が期待されている。本研究では、北上川における親水散策観光を想定し、安定したモバイル ICT 技術である公衆 Wi-Fi (無線 LAN) と急速に普及しているスマートフォンの組合せによる情報提供の可能性と、情報コンテンツのあり方を探ることを目的としている。質問紙調査の結果、この情報提供の有効性と安全情報をも含めた観光情報のあり方の方向性が確認された。

Key Words: tourism information, safety information, public Wi-Fi, smartphones

1. はじめに

観光情報には、観光行動を起こす前の発地向けの情報と、観光行動中に必要な着地における情報がある。従来、観光客誘致の観点から観光情報の多くは前者が占めてきた。そのためか、着地での情報はあまり重視されてこなかったといえよう。しかし、一人ひとりが町や自然を散策する、いわば散策観光においては、行動支援のための情報が不可欠であり、近年その提供方法と内容の見直しやモバイル ICT の活用が模索されている。

2. 目的

観光という用語で議論される場面では、その言葉

が観光「事業」を意味する場合と、観光「行動」を意味する場合があり、前者の場合主体は観光事業者であり、後者の場合は観光客となるなど、混乱を招くことがしばしばある。ここでは後者の意味で用い、観光とは人々が移動することにより日常から離れ、積極的に新たな情報(=刺激)に接する行動とみなすこととする。

行動としての観光は非常に広い概念であり、移動の範囲に着目すると、大きな移動を伴う国際観光から、距離的には比較的短いが日常とは異なる移動を伴ったレジャーまで含むことができる. 北上川における親水散策観光を想定した場合は後者に相当し、地域住民や来訪者による観光観光資源である北上川の親水行動を対象とする.

したがって、本調査においては、親水行動に関心 が高いと思われる北上川親水学習施設「あいぽーと 一関」利用者を対象とした質問紙調査を実施し、 親水散策観光への要望および求められる親水観光 情報の内容を把握し、情報提供の方法を検討した。 情報提供にはそれを伝えるための情報端末とイン フラが必要である。我が国においてもスマート フォンの普及が急速に進んでおり、情報端末とし てその活用を検討した。すなわち、スマートフォ ンには電話としての機能のほかに、電話回線を使 わずにインターネットへ接続できる Wi-Fi (無線 LAN) 機能が備わっている。

一方でインフラとして完成され普及している技術として公衆 Wi-Fi を想定した。まず、親水散策観光者の持参するスマートフォンを情報端末とみなす。そして、親水散策観光を行う人々がスマートフォンを持参しているか、あるいは持参の意向があるかを確認をし、その Wi-Fi 機能を活用することにより、親水散策観光情報や河川安全情報を提供することの可能性を確認した。

3. 調査方法

(1)調査対象者

本調査においては、北上川学習交流館あいぽーと一関を訪れる中学生以上の来館者を調査対象者とした。すなわち、北上川と流域に関するさまざまな情報を発信するという施設の利用目的の特性から、北上川に関心を寄せる方々が対象である。

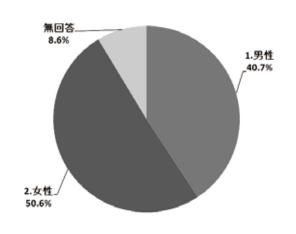


図1. 回答者の属性:性別 n=162

(2)調査手続き

調査は、来館した対象者に予め作成した質問紙 を手渡し、各質問へ対する記入を求め、記入後そ の場で回収した。

(3)調査期間

調査期間は、平成23年(2011年)7月2日から同年8月24日である。東日本大震災後、「あいぽーと一関」は国土交通省等の災害復旧対策の拠点施設として活用され、一般の来館利用に制約があったが、調査はそうした臨時の施設利用形態から通常の運営が回復された後に実施した。したがって、調査の実施そのものには震災の大きな影響は無かったと判断する。

4. 結果

(1)対象者の性別と年齢層

今回の調査における回答質問紙の有効回収数は 162 票であった. 性別では,図 1 のように無回答分を除くと男性が 40.7% に対して,女性が 50.6% であった. また,図 2 に示すように年齢層では,30 代が最も多く 38.3%,次いで 40 代の 26.5%,そして 50 代の 8.6% と続く.30 代と 40 代を加えると 64.8% となる。

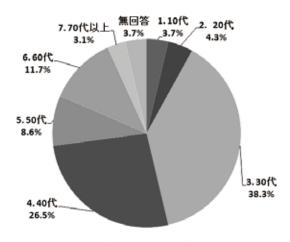


図2. 回答者の属性:年齢 n=162

(2) 興味がある・参加したい活動

まず、対象者が河川を対象とした親水散策観光で、興味がある・参加したい活動について訊ねている。具体的には、表1のように6種類の活動をあげ、加えてその他の活動の期待についても自由回答で訊ねた。

表1 興味がある・参加したい活動

- ① 川辺の自由な自然散策
- ② 川と自然の景色を楽しむ野外散策の会
- ③ 川と故郷の歴史を知る野外散策の会
- ④ 川と暮らしのつながりを知る野外散策の会
- ⑤ 川と親しむバーベキューなどのイベント
- ⑥ カヌーやボートを使った川下り

6 種類の活動それぞれについては、参加の機会があれば参加したいかの度合いを「1. はい~ 5. いいえ」の 5 点スケールでの回答を求めた. すなわち、スケール「1」が積極的な肯定の回答,「5」が積極的な否定の回答である.

その結果、図3に示すように、表1にあげた6種類の活動のいずれに対しても高い興味・参加意向が示された(以下グラフ中、各項は略記する)、特に、「①川辺の自由な自然散策」が最も支持が多く、積極的肯定のスケール「1」と肯定傾向の「2」を加え

るとおよそ 8 割に達する. ほぼ同じ率で,「⑤川と親しむバーベキューなどのイベント」が支持されている. 次に, 肯定的回答「1」と「2」の合計が多いのは,「②川と自然の景色を楽しむ野外散策の会」となっている.

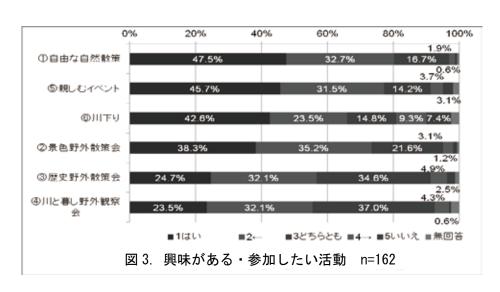
上位でこれらと異なる回答傾向を示したのは、「⑥カヌーやボートを使った川下り」である. 積極的肯定「1」は 42.6% で、3 番目に多いが、否定の回答「4」と「5」の合計は 24.2% と、他の活動と比較し最も多くなっている. 支持と不支持が分かれ、興味や参加意向が個人によりはっきり分かれる活動であることがうかがわれる.

以下、「③川と故郷の歴史を知る野外散策の会」、「④川と暮らしのつながりを知る野外観察の会」と続き、どちらも肯定の回答が5割を超えており、いずれも否定的回答は極めて少数であった。

(3)活動場面で知りたい情報

次に、対象者が親水散策観光における活動場面で知りたい情報について確認した。質問紙においては、表2に示した8項目の設問群を提示し、それぞれに対して前問と同様の5点スケールによる回答を求めた。また、これらの設問群に含まれていない情報に対する要望に関しては自由意見の記述で回答を求めた。

その結果,図4に示すように,いずれの設問に対しても肯定的回答の「1」と「2」の合計が6割を超



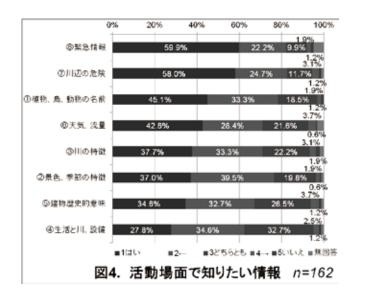
えている. すなわち, 親水散策観光における活動 を想定した場合, さまざまな内容の情報提供が強く求められることが明らかになった.

表2 活動場面で知りたい情報

- ① 木々や草花、鳥、動物の名前
- ② 周囲の景色や季節の特徴
- ③ 川の特徴や、どこからどこへ流れているかなど
- ④ 人々の生活と川および川に関する設備の役割
- ⑤ 人々が作った周囲の建物などの歴史や意味
- ⑥ 天気の動きや川の水の量や流れの変化
- ⑦ 川辺の危険なところや気をつけること
- ⑧ 安全に関する緊急の情報

具体的には、8 設問のうち、安全や防災に関連するものが 1 位、2 位を占めた. すなわち、「⑧安全に関する緊急の情報」と「⑦川辺の危険なところや気を付けること」がともに肯定的回答の「1」と「2」が 8 割を超えた. 両設問とも、積極的肯定「1」への回答だけで約 6 割であり、突出した結果となっている.

肯定的回答「1」の順では、「①木々や草花、鳥、名前」が次に来る。そして、「⑥天気の動きや川の水の量や流れの変化」の安全とも関連する設問が続く。肯定的回答「1」と「2」の合計では、「②周囲の景色や季節の特徴」が4位となる。



全体的に否定的回答はわずかだが、「④人々の生活と川および川に関する設備の役割」に対し、「3」の回答が 32.7% と相対的に多い.「3」は、「1」や「2」のような肯定ではなく、また知らなくてもよいという否定でもない意見であるが、比較的に関心が薄いことがうかがわれる.

ここで書かれた自由意見は 5 件と多くないが、 年齢、性別とともに表 3 に示す. このうち、2 件 が安全性に関する情報への要望意見だった. (う ち 1 件は選択肢®を指摘したものであったので省 略する。)」

表3 知りたい情報に関する自由意見

- ・川から飲み水になるまでなど (40代, 男性)
- ・サクラマスのそじょう時 (30代, 男性)
- ・危険な点など (30代, 女性)
- 世界の川ランキング (30代, 男性)

(4)情報端末としてのスマートフォン 利用への関心

本調査で情報端末として位置づけているスマートフォンは、既に所有している率 8.0% と次回機種交換するつもりとする率の 16.7% を加えると 24.7% になる. 対象者のほぼ四分の一が所有しているか、所有予定である. さらに、所有してはいないがスマートフォンに興味を持っているとする割合が 42.6% であ



図5. スマートフォン利用への関心 n=162

る. 前者との合計でおよそ7割に達する.

スマートフォンを「4. 持っていないし,メリット不明」と答えた対象者は 20.4% である. これらは所有に対して肯定でも否定でもない中間層であり、今後メリットを知ると所有意向を示す割合が増える可能性がある.

所有や利用に対して明らかな否定を示す、スマートフォンを持っていないし、これからも「5. 持たない」と答えた対象者は8.6%にすぎない.

(5) Wi-Fi で情報収集意向

次に質問では Wi-Fi を利用してスマートフォンで情報提供がなされるという、具体的なメリットを想定した場合の利用意向を訊ねている. すなわち、屋外やあいぽーと館内に Wi-Fi が整備され、スマートフォンを使うことで地域の自然や観光の情報が無料でインターネットから得られるなら、使ってみたいかと訊ねた.

その結果,「1. ぜひ使ってみたい」が 37.7%,「2. 興味がある」が 48.1% と両者の合計は 85.8% にも上る. この割合は, 前問の所有や利用 に対する肯定層と中間層の合計を上回る.

「5. 興味がない」,「4. 使いたくない」と答えた否 定的意向は, 合計でわずか 9.3% にすぎない.

この設問では、自由意見も訊ねており、あげられ

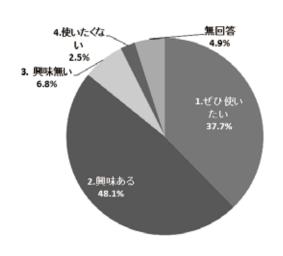


図6. Wi-Fiで情報収集意向 n=162

た意見は表 4 の通りであった. アプリケーション のダウンロードに多額の料金が必要になるという 誤解や, スマートフォンそのものに対する知識が ないための不安があることが伺える.

表4 Wi-Fi とスマートフォンから情報入手に 関する自由意見(字句原文のまま)

- ・子供たちには使わせてみたい。(40代、女性)
- ・よく知っていないと大変なことになるかもしれないので、わかりやすい説明とメリット、 デメリットが理解できればいいと思う. (30 代、女性)
- ・パケットは発生しませんが, アプリの D/L で 月額パケットはアッパーまで到るのであまり 意味がありません. (40 代, 男性)
- ・端末自体のせいのうがふつうの携帯なみの機能がそなわったら. (30代,女性)

(6) その他の自由意見

最後に、川の自然と文化、安全と防災などの情報提供について自由意見を求めた。その結果 17件の意見が記述された。そのうち、表 5 に示すように、安全や防災に関する情報提供を求める意見が含まれるものが 10 件と過半数に上り、関心が高いことがうかがわえる。

次いで多かったのは自然保護や河川の汚染を防ぐことに対する意見が含まれる記述であり、4 件であった.

自然などに関する情報や、情報提供のあり方に 関する意見が含まれるのは3件であった。その他、 堤防の活用に関する意見が1件あった。

表 5 自由意見 (字句原文のまま)

- ■安全や防災に関する情報提供を求める 自由意見
- ・堤防決壊時の水没ハザードマップ・外来生 物の駆除(40代,男性)
- ・子供の川遊びの事故が多い気がします。川 の危険性や遊びの注意などの啓発が必要か なと思います。 (30代、女性)
- ・川で地震の時の対応の仕方など (30代,女性)
- ・子供が小さいので危険な場所が気になります. (40代,女性)
- ・危険水位に達した時にメールで受信できる ようにして欲しい. (自分が知らないだけで, システムがあったとしたらすみません) (30 代, 男性)
- ・洪水、津波対策(40代、男性)
- ・放射能の汚染(50代,性別不明)
- ・水中,水辺の生き物 洪水マップ (60代,男性)
- ・昔の災害について(水害)(40代,性別不明)
- ・なぜ川遊びをしていて溺れて死亡する事故 があとを絶たないのか. 何が危険か, 気を 付けたいことがらについて. (30代, 女性)
- ■自然保護や河川の汚染を防ぐことに対する 自由意見
- ・なるべく自然を残してほしい. (60代, 男性)
- ・北上川には外らい魚がいるのか、北上川に 外国の魚をやるとどうなるか。

(年齢層、性別不明)

・川をきれいに使う、守ることの意識がもっ と高まることを望んでいます. (60 代、女性) ・岩手は自然豊かな土地で今年もホタルが沢 山見る事ができましたがやはりゴミや汚水 の問題も気になる所でみんなで協力して清 掃活動などして美しい自然を守っていきた いと思います . (30 代,女性)

- ■自然などに関する情報や、情報提供の あり方に関する自由意見
- ・水中, 水辺の生き物 洪水マップ (60代, 男性)
- ・どのような手段を使えばあいぽーとで提供されている情報が手に入るかを知りたいし、またそういう手段の周知徹底がはかられるといいと思います.(宣伝のための手だてをもっと!!)(40代,女性)
- ・歴史的に物資の流通について資料があればみたい. (50代, 男性)

■堤防の活用に関する自由意見

・堤防にサッカーのゴールなどがあれば、もっ と人が集まり、身近なものになると思いま した. (10代、男性)

5. 考察

調査結果より、今回調査対象としたあいぽーと 一関の利用者は、河川とのふれあいを持つさまざ まな活動に広く、かつ強い要望を持っていること が明らかになった。このことは、親水散策観光の 対象として北上川が活用される可能性を強く示唆 するものであり、活動の場として積極的に提供さ れるべきであるといえる。

それらの親水観光活動を想定した場合,対象者は 質問紙であげられた情報のいずれの提供に対しても 強い要望を示している.その中でも最も求められる 情報は、安全のための緊急の情報や危険回避に関す る情報であった. 自然に関する情報はそれらに次 ぎ、安全情報があってこその親水活動の意識が確 認された.

本研究の 2. 目的で述べたように, 観光を, 人々が移動することにより日常から離れ, 積極的に新たな情報に接する行動とみなすならば, 楽しみのための情報, 興味を引く情報, そして安全のための情報なども含め、移動中に得られる情報はいずれも, 観光情報と捉えることができる. 一般に観光情報とみなされている楽しみや珍しい物事を紹介する情報と, 安全や防災に関する情報に境目は無く, 質として連続したものとして扱うべきである.

提供されるべき情報の内容は観光行動の場面によって左右されるが、とりわけ自然環境の要因が大きな場面において、観光行動の主体の安全を確保するための情報は、重要な観光情報として提供されなければならない。したがって、親水観光情報と防災情報とは別々に提供されるべきものではなく、融合した形で同じ場面、同じ機会に提供されるべきものである。なお、本調査結果では、生活と河川に関する施設などへの関心は相対的に低いが、それらは安全に関する情報ともつながるものであり、積極的なPRが必要だと思われる。

本研究における観光情報提供では、スマート フォンを情報端末と位置づける一方で、通信イン フラとしては携帯電話のデータ回線ではなく,公 衆 Wi-Fi を利用することを前提としている. 現在 販売されているスマートフォンのすべてに Wi-Fi 機能が搭載されている. 細野 2) が指摘している ように、モバイルの観光情報提供の仕組みには、 提供側のインフラ整備と利用者側の端末が揃わな ければならない. 公衆 Wi-Fi の活用を想定した場 合、提供側のインフラは、既に普及している安価 で完成された技術で容易に構築され、必要と認め れば整備可能なものである. しかし、端末の持参 は情報提供側で操作できるものではなく、利用者 が対応する端末としてのスマートフォンを所有し て持参しているか、あるいは持参の意向を持って いるかにかかっている.

本調査の結果,対象者の 8.0% が既にスマートフォンを所有している.この率は,インターネットメディア総合研究所 3) が公表している所有率の 9.0% とほぼ同等といえる.また,次回の機種交換でスマートフォンに換えたいと所有の意向を示す率が 16.7% である.両者を合計すると対象者全体のおよそ四分の一となる.近い将来,4人に1人が確実にスマートフォンすなわち Wi-Fi 機能を持つ情報端末を所持するとみなすことができる.さらに,興味があるとする層が 42.6% おり,これらを加えると7割を越える.

スマートフォンは、小型インターネット・パソコンと位置づけることができる。すなわち、ほぼパソコン同様にパソコン用のサイトを閲覧・利用することができ、無料の Wi-Fi 環境ではインターネットの利用も無料で可能になるものである。現在、各携帯電話会社から発表される新機種のほとんどがスマートフォンであると言われている。こうした傾向から、スマートフォンの普及が急速に進むことは明らかである。

スマートフォンの観光場面での活用を検討した研究には、対象者に視点をあて、若年層を対象とした観光振興への活用を検討した折戸晴雄 4) らのものや、マルチメディアに視点をあて、AR 技術を用いた情報提供を提案した深田秀美 5) らのものなどがある。他方、本研究の視点は、インフラである公衆 Wi-Fi で活用することを想定することにある。

携帯電話のデータ回線利用の情報提供では、特定のサイトやサービスを利用するには、利用者が指定された URL を入力して Web ブラウザでアクセスするか、専用のアプリケーションを利用しなければならず、情報提供側が情報へ誘導することができない。それに比べ Wi-Fi を利用すれば、Web ブラウザの接続先をリダイレクトさせることにより、自動的に情報提供のポータルサイトにアクセスさせることが可能である。これにより、利用者が Wi-Fi にアクセスして Web ブラウザを立ち上げると、情報提供者が知らせたい情報が掲載されたポータルページが最初に表示されることになる。このことは、知らせたい観光情報を提供できるだけでなく、安全のための緊

急の情報や危険回避のための情報を提供する際に も大変に有効であると考えられる.

また、公衆Wi-Fiで親水観光活動の情報が無料で容易に得ることができるというメリットを明らかになると、ぜひ使ってみたいと考える対象者が約4割、さらに興味がある対象者を含めると8割5分にのぼった。これより、利用者は積極的に公衆Wi-Fiへ接続し、Webブラウザを開くことが想定される。さらに、スマートフォンは、認証を必要としないWi-Fiアクセスポイントや、一度接続履歴があるWi-Fiアクセスポイントへは自動的に接続するように設定されている。このため、接続は携帯電話のデータ回線に対して公衆Wi-Fiが優先的に行われ、スマートフォン利用者がWebブラウザを開けば情報が手元に確実に届くことになる。

本調査から、自由な自然散策を始め北上川に関連したさまざまな内容の親水観光活動に潜在的な要望があり、そのための楽しみや興味に関する情報から、安全や防災にいたる観光情報が求められていることが分かった。また、その情報提供手段として、スマートフォンを情報端末と想定した場合、通信インフラとしての公衆 Wi-Fi が有望であることが示された。

さらに議論を勧めるならば、公衆 Wi-Fi を通じ てどのように情報を提供するかという、情報の上 流側、すなわち提供側の課題があるだろう.

全国の国道と河川管理を所管している国土交通 省は、河川・道路管理用光ファイバを整備し積極 的な開放につとめてきている。また、河川防災シ ステムを運用し、さまざまな情報提供を行ってき ている。調査にご協力いただいたあいぽーと一関 もこうした情報提供施設の一つである。したがっ て、こうした国土交通省のインフラと情報提供機 能が、親水観光情報提供のバックボーンとなり融 合することが望ましいと考えられる。

国土交通省の北海道開発局開発管理部開発調整課6)は、弟子屈町の道の駅「摩周温泉」において公衆 Wi-Fi を活用した観光・防災情報提供の実証実験を行っている. こうした道路や地域情報だけでなく、潜在需要の存在する河川における親水散策観光をサ

ポートするために、より具体的な情報提供の内容とシステムを検討していく必要があると考えられる。なぜなら、活用が進んでいない貴重な観光資源である河川の自然的、人文的な価値を地域住民に認識していただき、有意義で安全な地域観光活動の場として広く開放していくことが、これからの地域づくりの中で重要な意味を持つと考えられるからである。

参考文献

- 1) 社団法人日本観光協会,『平成 22 年度版 観 光の実態と志向 第 29 回 国民の観光に関する 動向調査』社団法人日本観光協会, 2011
- 2) 細野昌和,『北海道における無線 LAN 活用による外国人観光客対応情報提供の有効性』, 観光情報 学会誌「観光と情報」第6巻,第1号,49-62,2010
- 3) インプレス R&D インターネットメディア総合 研究所,『ケータイ白書 2011』, 株式会社インプ レスジャパン, 2010
- 4) 折戸晴雄, 野村尚司,『スマートフォン・ツーリズムに向けた試論-若年層の沖縄観光促進の視点から-』, 日本国際観光学会論文集 (第 18 号), 19-25, 2011
- 5) 深田秀美, 舟木達也, 兒玉松男, 宮下直也, 大津晶,『画像認識型 AR 技術を用いた観光情報提供システムの提案』, 情報処理学会研究報告書 IPSJ SIG Technical Report (2001), 1-8, 2011 6) 北海道開発局開発管理部開発調整課, http://www.hkd.mlit.go.jp/topics/press/press

h2311/29 moderujikken.pdf, 2011

(2012.12.21 受理)

STUDY ON WI-FI UTILIZATION TO PROVIDE TOURISM INFORMATION FOR WALK-ABOUT TOURISTS

Recently, the need of information to support tourists' activities has been emphasized by the sight of walk-about tourists in sightseeing spots. Conventionally, brochures or signage boards have been used as ways to present tourism information on the sightseeing sites, but application of mobile ICT is expected now. In this study, a questionnaire survey was held to verify that public Wi-Fi is an adequate way to provide information for tourists who are inclined to walk to enjoy sightseeing or some leisure activities along the Kitakami River. As a result of the survey, the effectiveness of Wi-Fi as a means of supplying tourism information, including route suggestions and safety information, was confirmed.

観光ラフティングによる北海道ニセコ 尻別川の地域ブランド化に関する研究 - アウトドアスポーツ・ツーリズムに関する基礎研究 -

安藤昭1·原田房信2

1正会員 工博 北海商科大学大学院教授 大学院商学研究科 (〒062-8607 札幌市豊平区豊平6条6丁目10番)

E - mail: ando @ hokkai.ac.jp

2正会員 博士(工学)北海商科大学大学院教授 大学院商学研究科(〒062-8607 札幌市豊平区豊平6条6丁目10番)

E - mail : harada @ hokkai.ac.jp

本研究は、観光ラフティングによる盛岡・北上川の河川景観の地域ブランド化のための比較研究として、北海道観光ラフティング発祥の地として著名なニセコ尻別川を取り上げ、観光ラフティング(アウトドアスポーツ)による河川景観の地域ブランド化の課題を明らかにしようとするものである。①観光ラフティングの計画・策定 ②観光ラフティング活動の評価 ③文化的・社会的背景 ④自然的背景の4つの視角からの重要度と満足度の5段階評価の比較解析を行った結果、観光ラフティングによる盛岡・北上川の河川景観の地域ブランド化を図るための新たな手掛かりを得た。

Key Words: tourist rafting, regional brand of the river landscape, the Shiribetsu River at Niseko area in Hokkaido, comparative evaluation between degree of importance and degree of satisfaction

1. はじめに

二セコ地域は、北海道の西南部に位置し、二セコ積丹小樽国定公園の一角を占めている。東に国立公園・名峰羊蹄山(標高 1,898m)を仰ぎ、西から北にわたって国定公園ニセコ連峰が聳え、この裾野に広がる豊かな丘陵地帯の中央部を貫流しているのが清流尻別川である。その源流はフレ岳(標高 1,046m)西方に発し、喜茂別川、ベーベナイ川、真狩川、昆布川等の支流を合流しながら、狭窄部を流下し、田園地帯を経て日本海に注ぐ、流域面積 1640km2、流路延長 126km の一級河川である。

尻別川は,国土交通省によって平成23年度全国1級河川の平均水質(BOD)ランキングで1位に選出さ

れた水質的に優れた河川であり、アユ、サケ、サクラマス、イトウ等(魚類)、エゾハルゼミ(昆虫類)、カワセミ、ヤマセミ、セキレイ、コハクチョウ、カモ、オジロワシ(鳥類)が生息し、カタクリ、ミクリ、エゾエンゴサク、キバナシャクゲ、ハマハコベ、オースゲ(植物類)などが鑑賞できる生物的環境の保全された河川である。

尻別川流域は、北海道後志地方中央部の経済・社会・文化の基盤を成し、北海道有数の農業地帯であり、馬鈴薯、アスパラガス、米の名産地として知られている。また、蝦夷富士と呼ばれる羊蹄山やニセコ・ヒラフスキーリゾート地は北海道観光の中枢となっており、そのため、近年は海外からの不動産投

資が急増しているという.

交通環境は、JR 函館本線、国道 5 号、229 号、276 号、393 号等の基幹交通網が形成されており、 千歳、小樽、札幌間の物流及び地域間交流・国際 交流等において大きな役割を果たしている。

さて、平成7年(1995)当時、冬期のスキーによる観光しかなかった北海道ニセコ地域に、ラフティング等の夏型の体験観光の魅力を最初に導入したのはロス・フィンドレー氏(48歳:オ?ストラリア人)である。起業当初は、わずか1,500人/年の乗船客であったが、17年を経た現在においては約80,000人/7社/年の乗船客がある。

このような中、一般に我々日本人は、近代化過程の中ですっかり水辺(河川)環境から遠ざかってしまった。本研究では、近代化過程の修復の一環として観光ラフティングによる盛岡・北上川河川景観の地域ブランド化1)2)のために、北海道における観光

ラフティング発祥の地として著名なニセコ尻別川 を取り上げ、観光ラフティング(アウトドアスポーツ)による河川景観の地域ブランド化の課題と展望を明らかにすることを目的にしている.

2. 尻別川観光ラフティングコースの設定

観光ラフティング活動は7月・8月にピークがあり、通常4月から10月にかけて実施される.コースは春季と夏季の2コースがあり、春季コースはL=14km程を約2時間かけて下り、夏季はL=8km程を約1時間30分かけて下る。春季と夏季ではコースが異なっており、春季は雪解けで水量が増すためラフティングらしさを楽しむことができるが危険性が伴う。一方、夏季は水量が減少するため清流と動植物等を見る機会は増すが、多少ラフティングの魅力に欠けると言えよう。

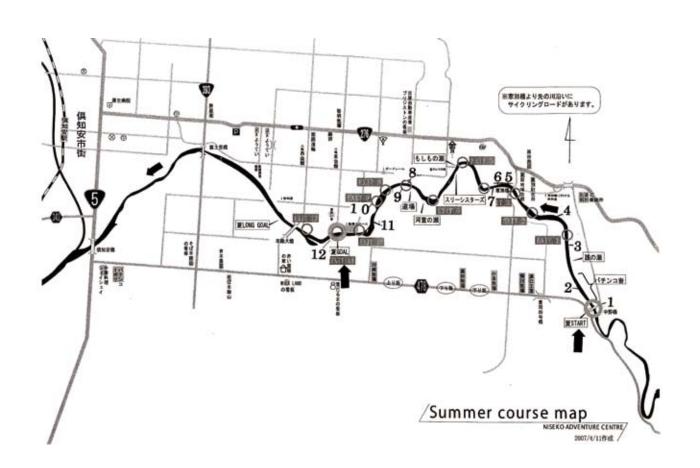


図-1 尻別川観光ラフティングコース

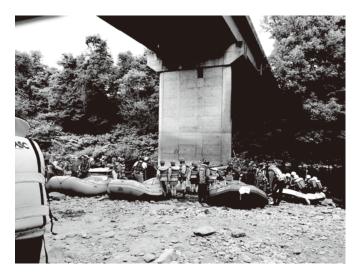


写真-1 中野橋スタート地点



写真-2 スタート前のトレーニング

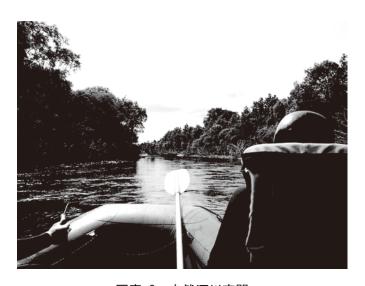


写真-3 自然河川空間



写真-4 自然河川空間 (ブロック護岸)



写真-5 寒別橋付近で遊泳を楽しむ(ブロック護岸)

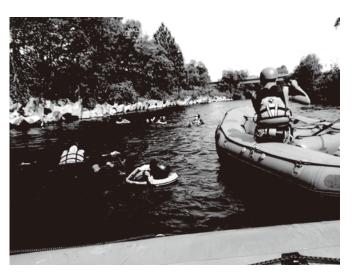


写真-6 寒別橋付近で遊泳を楽しむ(ブロック護岸)



写真-7 寒別橋付近での救助演習 (ブロック護岸)



写真-8 飛び込み遊びの準備の様子

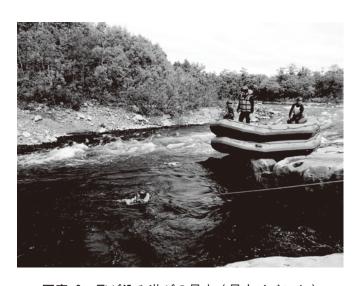


写真-9 飛び込み遊びの最中(最大イベント)



写真-10 左岸からの羊蹄山の眺望



写真-11 左岸のグランドキャニオンの眺望



写真-12 羊蹄橋のゴール地点 (河川敷にバスの存在)

本研究のラフティングコースとしては,このうち夏季コースに注目するものとし, 尻別川の清流豊かな自然河川空間で河床の所々に岩石の露頭などが見られる中野橋付近から羊蹄大橋付近までの約 L= 約8 kmのコースを選出している.

図 -1に示されるように、本コースは中野橋の桁下からスタートし、誰の瀬、寒別橋、もしもの瀬、スリーシスターズ、河童の瀬などを通過し、ゴールする。静寂な河川空間や流水が落差する箇所、左右に蛇行した箇所に存在する浅瀬、そして河床の岩の露頭など変化に富んだ箇所を通過する。ゴール前で、左岸に雄大な羊蹄山を眺望することができる。

ラフティングの時期、気候等にもよるが、オジロワシ,カワセミ,カモ類などの鳥類やキタキツネ、エゾタヌキ、コウモリ類などの哺乳類、カタクリ、エゾエンゴサク、キバナシャクナゲなどの植物を見ることができる. (写真-1~写真-12参照).

3 回の現地調査を行った .1 回目の調査は平成 24 年 6 月 16 日 (土) のラフティングの体験であ り、中野橋の桁下をスタートし、羊蹄大橋付近ま で約1時間30分乗船し、河川空間等の写真撮影 を行った. 天候は晴れである.2回目の調査は同 年の7月15日(日)に乗船者から直接聞き取り 調査(直接面接法による)を実施し,40部の調査 結果を得た、天候は曇りである、3回目の調査は 同年の7月29日(日)に前回同様,直接乗船者 から聞き取り調査を行ない,13 部の調査結果を得 た. 天候は曇りである. アンケートの調査項目・ 内容は表 -1 のとおりである. 調査は調査項目の 「観光ラフティングの計画・策定」、「観光ラフティ ング活動の評価」、「文化的・社会的背景」、「自然 的背景 (3) における各内容に関する重要度と満 足度について評価させたものである.

表 -2 は被験者の個人属性を表したものである. 乗船客の住所は 45 名中 38 名 (84%) が道内であり,7 名

表-1 アンケートの調査項目・内容3)

	「プラケートの調査項目	
	調査項目	調査の内容
		①コース設定
I	ラフティングの計画・策定	②所要時間
		③歓送迎の場所
		4安全・安心管理の現状
		⑤川遊びの多様化
		①河川空間・景観の快適性
		②渓流部の爽快感
П	観光ラフティング活動	③下流部の静水面の癒し感
		④飛び込み時の冒険心
		⑤船頭のリーダーシップ
		①産品による食のもてなし
		②温泉入浴によるもてなし
Ш	文化的・社会的背景	③国際的スキーリゾート地
		④周辺の農産物生産農家
		⑤羊蹄山の存在
		①清流日本一に3度選出
		②昆虫の合唱を聞く
IV	自然的背景	③魚類を守り、再導入
		④カモ類等の鳥類を見る
		⑤哺乳類等の存在
		⑥カタクリ等の植物の鑑賞

(16%) が道外である. 道内の中でも 38 名中 29 名 (76%) が札幌市からの客である 4). 全体的に見ても,45 名中 29 名 (64%) が札幌からの客であり,半数以上を占めている. 職業は 42 名中 21 名 (50%) が会社員で最も多く,次いで,学生の 11 名 (26%) となっている. 乗船客の性別,年齢を見ると,47 名中 31 名 (66%) が男性であり、女性は47 名中 16 名 (34%) となっている. その男性の中でも 20 代が 31 名中 20 名 (65%) で最も多く,30代6 名 (19%) などとなっている. 女性においても20 代が最も多く,16 名中 10 名 (63%) であり,次いで30 代の 16 名中 5 名 (31%) などである.

表-2 被験者の個人属性

			道内					道外								
住所	札幌	恵庭	夕張	浦河	小計	東京	千葉	栃木	奈良	小計		計		未記	入	
(53 部)	29	2	2	5	38	2	2	1	2	7		45		8		
職業	学生	Ė	牧場総	圣営	会社	員	公務	頻	主如	帰		#		未記入		
(53 部)	11		4		2	1	2		4			42		11		
性別				男							女					
年齢	10代	20代	30代	40代	50 代~	~60代	小計	10代	20代	30代	40代	50代~60代	小計	計	未記入	
計(53部)	1	20	6	3		1	31	0	10	5	1	0	16	47	6	

4. 観光ラフティングアンケート調査の結果

アンケートは乗船後,乗船者から下記の①~④の質問事項における重要度と満足度及び各質問事項の総合評価について直接聞き取り調査を行った.①観光ラフティングの計画・策定,②観光ラフティング活動の評価,③文化的・社会的背景,④自然的背景の4項目である.

(1) 観光ラフティングの計画・策定の重要度に関する評価

表 -3 は観光ラフティングの計画・策定の重要度に関する評価を表したものである. コース設定、所要時

間、歓送迎の場所,安全・安心管理の現状,川遊びの多様化についての評価軸は重要 - 重要ではないの 5 段階であり,それぞれ重要 - 5,やや重要 - 4,どちらともいえない - 3,あまり重要ではない - 2,重要ではない - 1 である.総合評価は各内容を評価した人数の平均値を表し,Mean(総合評価の Mean)は各内容の Mean(例:コース設定は 5 が 25 人、4 が 14 人、3 が 8 人であり、その合計を 47 で除した数値)の平均値である.総合評価のランクは表一 3,5,7,9 の重要度 4 項目及び表一 4,6,8,10 の満足度 4 項目の中のランクである (1).

表-3 観光ラフティングの計画・策定の重要度に関する評価

	5	4	3	2	1	Total	Mean	Rank	標準偏差
1. コース設定	25	14	8	0	0	47	4. 36	3	0. 764
2. 所要時間	25	13	7	2	0	47	4. 30	4	0. 883
3. 歓送迎の場所	22	3	15	5	2	47	3. 81	5	1. 262
4. 安全・安心管理の現状	40	7	0	0	0	47	4. 85	1	0. 360
5. 川遊びの多様化	33	7	5	2	0	47	4. 51	2	0.856
総合評価	29	8.8	7	1.8	0.4	47	4. 37	2	0. 377

(評価軸1~5:重要-重要ではない)

表 -3 から, 重要度で最も平均値が高いのは 4.85 の「安全・安心管理の現状」で 47 名中 40 名 (85%) が重要であると答え, 標準偏差も 0.360 と小さい, 次いで,

平均値 4.51,標準偏差 0.856 の「川遊びの多様化」であり,47 名中33 名 (70%)が重要であると答えている. 以下表のとおり「コース設定」は平均値 4.36,標準偏 差 0.764,47名中25名(53%)が重要であると答え,「所要時間」は平均値 4.30,標準偏差 0.883,47名中25名(53%)が重要であるとし、歓送迎の場所では平均値 3.81,標準偏差 1.262,47名中22名(47%)が重要であると答えている。

総合評価の平均値は 4.37 であり , 重要度の平均値の中で第 2 位である . 重要度の平均値 $1\sim5$ までの平均値の標準偏差は 0.377 である .

以上から,殆どの乗船客がラフティングを楽しむことが重要であると思っている。ラフティングの安全・安心管理が最も重要であるが,もっと自由な川遊びへと多様化を目指し,コースを設定する必要がある.そして,ある程度の所要時間とJR(倶知安駅)駅前広場の歓送迎の場所の適切さはさほど重要ではないと思われる.

(2) 観光ラフティングの計画・策定の満足度に関する評価

表 -4 は観光ラフティングの計画・策定の満足度に関する評価を表したものである. コース設定,所要時間,歓送迎の場所,安全・安心管理の現状,川遊びの多様化についての評価軸は満足 - 不満の5段階であり,総合評価の1~5は各内容を評価した人数の平均値を表し,Meanは各内容の Mean の平均値である. ランクは1~5の各内容の Mean のランクを表し,総合評価

のランクは満足度の四つの中のランクである.

表 -4 から ,満足度で最も平均値が高いのは 4.78 の「安全・安心管理の現状」であり ,46 名中 39 名 (85%) が満足と答え ,標準偏差も 0.554 と低くなっている .次いで ,平均値 4.63,標準偏差 0.679 の「コース設定」であり ,46 名中 33 名 (72%) が満足と答えている .

以下表のとおり,「所要時間」は平均値 4.61 で 46 名 32 名 (70%) が満足であるとし,標準偏差は 0.714 と 3 番目に低い. そして,「川遊びの多様 化」は平均値 4.50 で 46 名中 32 名 (70%) が満足と答え,標準偏差は 0.837 である.満足と答えたパーセンテージは「所要時間」と同じであるが標準偏差が高く,平均値が下がっている.最も平均値が低いのは「歓送迎の場所」であり,3.91(46 名中 18 名が満足であるとし,39% である)であり,一方,標準偏差は 0.938 と最も高くなっている.

総合評価の平均値は 4.49 であり ,満足度の平均値の中で第 2 位である.満足度の内容 $1\sim5$ までの平均値の標準偏差は 0.337 である.

以上から,大半の乗船客がラフティングの乗船及び,安全・安心管理の状況に満足し,現状のコース設定と所要時間にもほぼ満足している.一方,川遊びの多様化と JR(倶知安駅)駅前広場の歓送迎の場所については今後,検討が必要と思われる.

表-4 観光ラフティングの計画・策定の満足度に関する評価

	5	4	3	2	1	Total	Mean	Rank	標準偏差
1. コース設定	33	10	2	1	0	46	4.63	2	0. 679
2. 所要時間	32	12	0	2	0	46	4.61	3	0.714
3. 歓送迎の場所	18	6	22	0	0	46	3. 91	5	0. 938
4. 安全・安心管理の現状	39	4	3	0	0	46	4. 78	1	0. 554
5. 川遊びの多様化	32	6	7	1	0	46	4.50	4	0. 837
総合評価	30.8	7.6	6.8	0.8	0	46	4. 49	2	0. 337

(評価軸1~5:満足-不満)

(3) 観光ラフティング活動の重要度に関する評価表 -5 は観光ラフティングの重要度に関する評価を表したものである.「河川空間・景観の快適性」⁵⁾,「渓流部の爽快感」,「下流部の静水面の癒し感」,「飛び込み時の冒険心」,「船頭のリーダーシップ(話術)」の評価軸は重要 - 重要ではないの5段階であり,総合評価は前述の表 -3 と同様である.

表 -5 から, 重要度の平均値のランク 1 位は「渓流部の爽快感」で 4.81 であり,52 名中 43 名 (83%) が重要と答えている.標準偏差も 0.445 で最も低くなっている.そして,平均値の第 2 位には「船頭のリーダーシップ (話術)」の 4.79 で 52 名中 43 名 (83%) が重要であるとしている.1 位の「渓流部の爽快感」と同じであるが,標準偏差が 0.498 と若干高く,平均値がやや下がっている.第 3 位は「河川空間・景観の快適性」であり,平均値は 4.63 であり,52 名中 37 名 (71%) が重要と

答えている.標準偏差も 0.627 であり,3 番目に低くなっている.次に,「飛び込み時の冒険心」が 4 位で平均値 4.54 であり,52 名中 34 名 (65%) が重要と答えている.標準偏差は 0.699 である.5 位は平均値 4.40 の「下流部の静水面の癒し感」であり,52 名中 31 名 (60%) が重要であると答えている.標準偏差は最も高く,0.846 である.総合評価の平均値は 4.63 であり,重要度の平均値の中で第 1 位である.重要度の平均値の標準偏差は 0.172 である.

以上から、殆どの乗船客がラフティングを楽しむためには渓流部の爽快感、船頭のリーダーシップ (話術)、河川空間・景観の快適性が重要であると思っている。また、半数ほどの乗船客がラフティングをより楽しむための重要なプラスアルファとして、飛び込み時の冒険心と下流部の静水面の癒し感があると感じている。

表-5 観光ラフティング活動の重要度に関する評価

		5	4	3	2	1	Total	Mean	Rank	標準偏差
1.	河川空間・景観の快適性	37	11	4	0	0	52	4.63	3	0. 627
2.	渓流部の爽快感	43	8	1	0	0	52	4.81	1	0. 445
3.	下流部の静水面の癒し感	31	13	6	2	0	52	4.40	5	0.846
4.	飛び込み時の冒険心	34	12	6	0	0	52	4. 54	4	0. 699
5.	船頭のリーダーシップ(話術)	43	7	2	0	0	52	4. 79	2	0. 498
	総合評価	37. 6	10.2	3.8	0.4	0	52	4. 63	1	0. 172

(評価軸1~5:重要-重要ではない)

(4) 観光ラフティング活動の満足度に関する評価表 -6 は観光ラフティング活動の満足度に関する評価を表したものである.「河川空間・景観の快適性」、「渓流部の爽快感」、「下流部の静水面の癒し感」、「飛び込み時の冒険心」、船頭のリーダーシップ(話術)の評価軸は満足 - 不満の5段階であり、総合評価は前述の表 -4 と同様である.

表 -6 から,満足度の平均値が最も高いのは「船頭のリーダーシップ(話術)」の 4.77 であり,52 名中 44 名 (85%) が満足と答えている.標準偏差は 0.614 であり,3 番目に低い.次に,平均値の第 2 位は「河川空間・景観の快適性」で 4.73 であり,52 名中 41 名 (79%) が満足と答えている.標準偏差は 0.564 で 2 番目に低くなっている.平均値第 3 位は「渓流部の爽快感」で

あり,4.71であり,52名中40名(77%)が満足と答えている.標準偏差は0.572で2番目に低い.以下,平均値の第4位に「飛び込み時の冒険心」で4.62,52名中38名(73%)が満足と答え,標準偏差は0.690である.最も平均値が低いのは下流部の「静水面の癒し感」で4.52であり,52名中34名(65%)が満足と答えている.標準偏差は0.754で最も高い.

総合評価の平均値は 4.67 で,満足度の総合評価で

は最も高い.標準偏差は 0.100 である.

以上から、大半の乗船客が船頭のリーダーシップ(話術)、河川空間・景観の快適性、渓流部の爽快感が重要であり(重要度の分析より)、且つそれらの満足度が高く、プラスアルファの活動として、飛び込んだ乗客はほぼ満足し、静水面の癒し感もあり、ラフティングの活動を楽しみ、満足していることが分かる。

表-6 観光ラフティング活動の満足度に関する評価

		5	4	3	2	1	Total	Mean	Rank	標準偏差
1.	河川空間・景観の快適性	41	8	3	0	0	52	4. 73	2	0. 564
2.	渓流部の爽快感	40	9	3	0	0	52	4. 71	3	0. 572
3.	下流部の静水面の癒し感	34	12	5	1	0	52	4. 52	5	0. 754
4.	飛び込み時の冒険心	38	8	6	0	0	52	4. 62	4	0. 690
5.	船頭のリーダーシップ(話術)	44	5	2	1	0	52	4. 77	1	0.614
	総合評価	39. 4	8.4	3.8	0. 4	0	52	4. 67	1	0. 100

(評価軸1~5:満足-不満)

(5) 文化的・社会的背景の重要度に関する評価表 -7 は文化的・社会的背景の重要度に関する評価を表したものである.「特産品による食事のおもてなし」、「温泉入浴によるおもてなし」、「近くの国際的リゾート地」、「周辺の馬鈴薯・米などの生産農家」、「歴史的自然である羊蹄山の存在」についての評価軸は重要 - 重要ではないの5段階であり、総合評価は前述の表 -3 と同様である.

表 -7 から, 重要度の平均値が最も高いランク 1 位は「歴史的自然である羊蹄山の存在」で 4.23 である 6).48 名中 24 名 (50%) が重要と答え, 13 名 (27%) がやや重要と答えている. 標準偏差は 0.928 である. 平均値第 2 位は「温泉入浴によるおもてなし」で 4.06 であり, 48 名中 20 名 (42%) が重要と答え, 12 名 (25%) がやや重要, 15 名 (31%) がどちらとも言えないと答えている. 標準偏差は 0.909 である. 平均値の第 3 位は

「特産品による食事のおもてなし」と「近くの国際的スキーリゾート地」がともに同じ値であり、3.81 となっている. 重要と答えたのは「近くの国際的スキーリゾート地」が48名中16名(33%)、「特産品による食事のおもてなし」が48名中14名(29%)であり、どちらとも言えないと答えたのは「特産品による食事のおもてなしが21名(44%)、「近くの国際的リゾート地」が23名(48%)である. 第5位は「周辺の馬鈴薯・米などの生産農家」の3.27であり、48名中7名(15%)が重要と答え、25名(52%)がどちらとも言えないと答えている. 標準偏差は1.026と最も高い.

総合評価の平均値は 3.84 であり,重要度の総合評価では第 3 位である.標準偏差は 0.363 である.

以上から , 殆どの乗船客が尻別川周辺の自然を好み , 羊蹄山の存在は重要であり , またラフティングを楽しんだ後の温泉入浴によるおもてなしも重要な要

素だと思っている.一方,近くに国際的リゾート 地が存在することと,周辺一帯が馬鈴薯・レタス・ 米を生産する農家があるにもかかわらず,特産品 による食事のおもてなしについては半数ほどが重 要ではないと感じていることが分かる.これは地元の特産品が十分生かされていないことを意味する.今後地元の特産品を使った食等(地産地消)をより検討すべきであろう.

表-7 文化的・社会的背景の重要度に関する評価

		5	4	3	2	1	Total	Mean	Rank	標準偏差
1.	特産品による食事のおもてなし	14	12	21	1	0	48	3.81	3	0.891
2.	温泉入浴によるおもてなし	20	12	15	1	0	48	4.06	2	0.909
3.	近くの国際的スキーリゾート地	16	8	23	1	0	48	3.81	3	0. 938
4.	周辺の馬鈴薯・米などの生産農家	7	9	25	4	3	48	3. 27	5	1.026
5.	歴史的自然である羊蹄山の存在	24	13	10	0	1	48	4. 23	1	0. 928
	総合評価	16. 2	10.8	18.8	1.4	0.8	48	3.84	3	0.363

(評価軸1~5:重要-重要ではない)

(6) 文化的・社会的背景の満足度に関する評価表 -8 は文化的・社会的背景の満足度に関する評価を表したものである.「特産品による食事のおもてなし」、「温泉入浴によるおもてなし」、「近くの国際的スキーリゾート地」、「周辺の馬鈴薯・米などの生産農家」、「歴史的自然である羊蹄山の存在」の評価軸は満足 - 不満の5段階であり、総合評価は前述の表 -4 と同様である.

表 -8 から,平均値のランクの第1位は「歴史的自然である羊蹄山の存在」で4.49である.「歴史的自然である羊蹄山の存在」は47名中31名(66%)が満足,8名(17%)がやや満足と答えている.標準偏差は「歴史的自然である羊蹄山の存在」が0.777であり,最も低くなっている.次に,平均値のランクの第2位は「近くの国際的スキーリゾート地」の3.79であり,47名中15名(32%)が満足,7名(15%)がやや満足,25名(53%)がどちらとも言えないと答えている.標準偏差は0.907である.平均値の第3位は「温泉入浴によるおもてなし」であり,3.74であり,47名中9名(19%)が満足,18名(38%)がやや満足,19名(40%)がどちら

とも言えないと答えている.標準偏差は 0.793 である. 第 4 位は「周辺の馬鈴薯・米などの生産農家」であり,同じく 47 名中 9 名 (19%) が満足,13 名 (28%) がやや満足,25 名 (53%) がどちらとも言えないと答えている.標準偏差は 0.788 である.第 5 位は「特産品による食事のおもてなし」であり,平均値は 3.61 であり,47 名中 10 名 (21%) が満足と答え,同じく 10 名 (21%) がやや満足,26 名 (55%) がどちらとも言えないと答えている.標準偏差は 0.848 である.

総合評価の平均値は 3.86 であり , 満足度の評価では第 3 位である . 標準偏差は 0.360 である .

以上から, 尻別川の文化的・社会的背景は前述の重要度からも分かるように歴史的自然である羊蹄山の存在が重要であると思っていると同時に, その存在に満足していることが分かる. また, 前述の温泉入浴によるおもてなしは重要であると思っているが, 十分満足していない現実が判明した. 近くに国際的リゾート地があり, 周辺一帯が馬鈴薯・レタス・米を生産する農家があるにもかかわらず, 特産品による食事のおもてなしには満足していない現状も浮かびあ

がった. 前述したように, 地元の特産品の検討と共に地元の特産品の PR や来客者の食に対する満足度を

上げる仕組みや工夫が必要である.

表-8 文化的・社会的背景の満足度に関する評価

		5	4	3	2	1	Total	Mean	Rank	標準偏差
1.	特産品による食事のおもてなし	10	10	26	1	0	47	3. 61	5	0. 848
2.	温泉入浴によるおもてなし	9	18	19	1	0	47	3. 74	3	0. 793
3.	近くの国際的スキーリゾート地	15	7	25	0	0	47	3. 79	2	0. 907
4.	周辺の馬鈴薯・米などの生産農家	9	13	25	0	0	47	3. 66	4	0. 788
5.	歴史的自然である羊蹄山の存在	31	8	8	0	0	47	4. 49	1	0. 777
	総合評価	14.8	11. 2	20.6	0.4	0	47	3. 86	3	0. 360

(評価軸1~5:満足-不満)

(7) 自然的背景の重要度に関する評価

表 -9 は自然的背景の重要度を表したものである.清流日本一に3度選出」、「エゾハルゼミ(昆虫)の合唱を聞く」、『「イトウ」(魚類)を守り、再導入の状況』、「オジロワシ・カモ類などの鳥類を見る」、「キタキツネ・エゾタヌキ・コウモリ類(哺乳類)の存在」、「カタクリ・ミクリ・エゾエンゴサクなどの植物の鑑賞」の評価軸は重要 - 重要ではないの5段階であり、総合評価は前述の表-3と同様である.

表 -9 から, 平均値のランク第 1 位は「清流日本一に 3 度選出」である. 平均値は 3.98 であり、51 名中 23 名 (45%) が重要と答え,13 名 (25%) がやや重要と答えている. 標準偏差は 1.191 と最も高い. ランク第 2 位は「キタキツネ・エゾタヌキ・コウモリ類の存在である. 平均値は 3.94 であり,51 名中 20 名 (39%) が重要と答え,12 名 (24%) がやや重要と答えている. 標準偏差は 1.008 であり、2 番目に低い.

第3位は「オジロワシ・カモ類などの鳥類を見る」で、平均値は 3.92 であり、51 名中 16 名(31%)が重要と答え、15 名(29%)がやや重要と答えている。20 名(39%)がどちらとも言えないと答えている。標準偏差は 0.845 で最も低くなっている。第4位は「カタク

リ・ミクリ・エゾエンゴサクなどの植物の鑑賞」で、 平均値は 3.71 であり,51 名中 15 名 (29%) が重要 と答え,13 名 (25%) がやや重要と答えている.また,18 名 (35%) がどちらとも言えないと答えている.標準偏差は 1.082 で 3 番目に低くなっている.第5位は『「イトウ」(魚類)を守り、再導入の状況』である.平均値は 3.69 であり,51 名中 16 名 (31%) が重要と答えているが、22 名 (43%) がどちらとも言えないと答えている.標準偏差は 1.086である.最後のランク第6位は「エゾハルゼミの合唱を聞く」で、平均値 3.08 であり、51 名中7名 (14%) が重要と答えているが、22 名 (43%) がどちらとも言えないと答えているが、22 名 (43%) がどちらとも言えないと答えている。標準偏差は 1.164である.

総合評価の平均値は 3.72 であり, 重要度のランクは第4位である.標準偏差は 0.337 である.

以上から,回答者の半数ほどが尻別川は過去に3度清流日本一に選ばれ,清流であることから自然的背景は好きであることが分かる.また,キタキツネ・エゾタヌキ・コウモリ類の哺乳類の存在,オジロワシ・カモ類の鳥類の存在,カタクリ・ミクリ・エゾエンゴサクなどの植物の鑑賞については,ラフティング活動における自然的背景に相応しい要素であると

思っている.「イトウ」(魚類)を守り,再導入の状況,エゾハルゼミの合唱を聞くことができる

ことはさほど重要ではないと思っていることが分かる.

表-9 自然的背景の重要度に関する評価

	5	4	3	2	1	Total	Mean	Rank	標準偏差
1. 清流日本一に3度選出	23	13	9	3	3	51	3. 98	1	1. 191
2. エゾハルゼミの合唱を聞く	7	9	22	7	6	51	3. 08	6	1. 164
3. 「イトウ」を守り、再導入の状況	16	9	22	2	2	51	3. 69	5	1. 086
4. オジロワシなどの鳥類を見る	16	15	20	0	0	51	3. 92	3	0. 845
5. キタキツネなどの存在	20	12	15	4	0	51	3. 94	2	1. 008
6. カタクリなどの植物の鑑賞	15	13	18	3	2	51	3. 71	4	1. 082
総合評価	19. 4	14. 2	21. 2	3.8	2.6	51	3. 72	4	0. 337

(評価軸1~5:重要-重要ではない)

(8) 自然的背景の満足度に関する評価

表 -10 は自然的背景の満足度を表したものである.「清流日本一に3度選出」,「エゾハルゼミ(昆虫)の合唱を聞く」,『「イトウ」(魚類)を守り,再導入の状況』,「オジロワシ・カモ類などの鳥類を見る」,「キタキツネ・エゾタヌキ・コウモリ類(哺乳類)の存在」,「カタクリ・ミクリ・エゾエンゴサクなどの植物の鑑賞」の評価軸は満足 -不満の5段階であり,総合評価は前述の表 -4と同様である.

表 -10 から, 平均値のランク第 1 位は「清流日本一に 3 度選出」であり, 平均値 4.41,51 名中 29 名 (57%) が満足と答え,14 名 (27%) がやや重要と答えている. 標準偏差は最も低い. ランク第 2 位は「キタキツネ・コウモリ類(哺乳類)などの存在」で, 平均値 3.78 であり,51 名中 15 名 (29%) が満足と答え,11 名 (22%) がやや満足とし,24 名 (47%) がどちらとも言えないと答えている. 標準偏差は 0.901 である. ランク第 3 位は「オジロワシ・カモ類などの鳥類を見る」で, 平均値 3.76,51 名中 11 名 (22%) が満足と答え,17 名 (33%) がやや満足と答え,23 名 (45%) がどちらとも言えないと答えている. 標準偏差は 0.790 で 3

番目に低くなっている. ランク第4位は『「イトウ」 (魚類)を守り、再導入の状況』であり、平均値 3.71,51 名中 12 名 (24%) が満足 , 同じく 12 名 (24%) がやや満足, 27 名(53%) がどちらとも言え ないと答えている.標準偏差は0.832である.ラ ンク第5位は「カタクリ・エゾエンゴサクなどの 植物の鑑賞」であり、平均値は 3.63,51 名中 9 名 (18%) が満足と答え,14名(27%)がやや満足,28 名(55%)がどちらとも言えないと答えている.標 準偏差は 0.774 で 2 番目に低くなっている.最後 のランク第6位は「エゾハルゼミ(昆虫)の合唱 を聞く」である. 平均値は 3.43 であり,51 名中 9 名 (18%) が満足と答え,7名 (14%) がやや満足と 答え,33名(65%)がどちらとも言えないと答えて いる.標準偏差は 0.878 で 2番目に高くなってい る.

総合評価の平均値は 3.79 であり,満足度の平均値の中では第4位である.標準偏差は 0.331 であり,非常に低くなっている.

以上から、半数以上が尻別川は清流であり、ラフティング活動に満足し、楽しんでいることが分かる。 キタキツネ・エゾタヌキ・コウモリ類(哺乳類)やオジロワシ・カワセミ・カモ類などの鳥類について、ラフ ティング中に見れる確率は約50%ほどで, すべての乗船客が満足しているとは言えないことが分かる.「イトウ」(魚類)を守り, 再導入の状況,

カタクリ・エゾエンゴサクなどの植物の鑑賞,エ ゾハルゼミの合唱を聞くことに関してはさほど満 足していないことが判明した.

表-10 自然的背景の満足度に関する評価

	5	4	3	2	1	Total	Mean	Rank	標準偏差
1. 清流日本一に3度選出	29	14	8	0	0	51	4. 41	1	0. 753
2. エゾハルゼミの合唱を聞く	9	7	33	1	1	51	3. 43	6	0.878
3.「イトウ」を守り、再導入の状況	12	12	27	0	0	51	3.71	4	0.832
4. オジロワシなどの鳥類を見る	11	17	23	0	0	51	3. 76	3	0. 790
5. キタキツネなどの存在	15	11	24	1	0	51	3. 78	2	0. 901
6. カタクリなどの植物の鑑賞	9	14	28	0	0	51	3.63	5	0. 774
総合評価	14. 2	12. 5	23. 8	0. 33	0. 17	51	3. 79	4	0. 331

(評価軸1~5:満足-不満)

5. 結論

本研究は、北海道の観光ラフティング発祥の地として著名なニセコ尻別川の観光ラフティング(アウトドアスポーツ)を通して、尻別川河川景観の地域ブランド化の課題と展望を明らかにするために乗船者に対するアンケート調査を行ったものである、得られた結果を示せば以下の通りである。

- 1. 観光ラフティングの計画・策定に対する満足度と観光ラフティング活動に対する満足度の評価が最も高く,次いでこれらに対する重要度の評価が高い.
- 2. 一方, 自然的背景に対する重要度と満足度の評価が最も低く,次いで,文化的・社会的背景の満足度と重要度に対する評価が低い.
- 3. 従って , ラフティングの安全・安心に対する 管理を最重要視すること , 船頭のリーダーシップ (話術) が重要であることを認識し , ラフティングの現在のコース設定を維持し , 所要時間を守ることと , 渓流部の爽快感 , 河川空間・景観の快適性 , 清流日本一であること , そして歴史的自然である羊蹄山の存在を重要視する必要がある .

- 4. 課題としては,川遊びの多様化,温泉入浴によるもてなし,特産品による食事のもてなし,鳥類・哺乳類等の生物的環境の保全, 歓送迎の場所と河川敷へのバスの乗り入れに対する検討が挙げられる.
- 5. ラフティング(アウトドアスポーツ)の乗船者は主として札幌市からの来訪者(札幌市民)か、その周辺市町からの来訪者である. その他の乗船者は本州からの来訪者も含まれる. よって, 尻別川の地域ブランド化は様々な来訪者によってなされることを認識する必要がある.

謝辞:本研究の調査に御協力をいただいた北海商 科大学観光産業学科安藤研究室の魚住志緒里,柴 野成哉,高野実沙紀,丹敦史,土田皐樹,山内榛 華の学生諸氏に謝意を表する.また,本調査に御 協力をいただいたN社の中沢静登氏に感謝する.

注:

(1) ラフティングの計画・策定の重要度と満足度及びラフティング活動の重要度と満足度の総合評価のなかで平均値の最小値は 4.37 である. 一方,文化的・社会的背景の重

要度と満足度及び自然的背景の重要度と満足度の総合評価のなかで平均値の最大値は 3.86 である. 平均値 4.37 と 3.86 の 平均 値 の 差 の 検 定 を 行 っ た と こ ろ , v | d | = 0.51 \ 2 V (d) = 0.15 の関係を得て, 有意差がある (危険率 5%) ことを確認している.

参考・引用文献

- 1) 安藤昭: 観光ラフティングによる盛岡・北上川の河川 景観の地域ブランド化に関する研究 , 観光まちづくり学 会誌 , Vol. 9, PP. 8 ~ 18, 2012, 観光まちづくり学会誌
- 2) 安藤昭・村上功・佐々木栄洋:盛岡・北上川ラフティング (アウトドアスポーツ) 観光事業提案公募型県民共同モデル事業―報告書, PP.1 ~ 55, NPO 都市デザイン総合研究センター, 2011.3
- 3) 安藤昭, 赤谷隆一: 感覚統合理論による都市景観設計 の体系化, 土木学会論文集, No. 653, IV-48, PP. 63 ~ 75, 2000, 土木学会
- 4) 安藤昭, 佐々木貴弘, 赤谷隆一, 佐々木栄洋:住民・

転出者・来訪者からみた岩手県中山間地における町のイメージ構造―岩手県軽米町を対象として―, 都市計画論文集, No. 32-3, PP. 475 ~ 480, 1997, 日本都市計画学会

- 5) 安藤昭:都市景観計画と都市河川,PP.137~140,水辺の景観設計,土木学会編,技報堂出版,1999
- 6) 赤谷隆一,安藤昭,佐々木栄洋,中里佳行:北上川開 運橋からの沿線ビルディングの許容高さ設定のための河 川景観の調和対比感と美しさについて一岩手山を取り込 んだ流軸景を対象として一,第15回環境情報科学論文 集,PP.43~48,2001,環境情報科学センター

参考・引用図

図-1は, 倶知安町観光産業課発行の尻別川観光ラフティングコース (Summer course map) を引用し, 加筆したものである (作成者:原田房信)

(2012.12.27 受理)

RESEARCH ON THE REGIONAL BRAND OF THE SHIRIBETSU RIVER AT NISEKO AREA IN HOKKAIDO THROUGH TOURIST RAFTING

- BASIC RESEARCH ON THE OUTDOOR SPORTS TOURISM -

Akira ANDO and Fusanobu HARADA

The purpose of this paper is to reveal the problem of the regional brand of the river landscape through the tourist rafting (outdoor sports) of the Shiribetsu River. This study takes up the popular Shiribetsu River because of the birthplace of the tourist rafting in Hokkaido, based on the comparative study of the tourist rafting between the Kitakami River at Morioka City in Iwate Prefecture and the Shiribetsu River at Niseko area in Hokkaido. We analyzed the regional brand of the Shiribetsu River through the tourist rafting for plan and decision of the tourist rafting, for evaluation of the tourist rafting, for cultural and social background of the tourist rafting, and for natural background of the tourist rafting, based on grading according to five ranks of degree of importance and degree of satisfaction. In the result, an useful information for the regional brand of the river landscape of the Kitakami River at Morioka City was obtained.

熊本と静岡の広域観光連携私案: - 水前寺, 人吉, 天草-

新田 時也

正会員 博士(工学) 修士(経済学)

東海大学准教授 海洋学部 (〒424-8610 静岡県静岡市清水区折戸 3-20-1)

E-mail: tokiya@scc.u-tokai.ac.jp

1. はじめに

熊本と静岡は、2011年7月末まではFDA(フジドリームエアラインズ)の「空の道」で結ばれていた。2012年7月には、静岡市の清水港から熊本港にガントリークレーンが譲渡された。深いつながりのある熊本と静岡である。本小論では、熊本と静岡との間の広域観光連携について、構想私案を提示したい。フィールドとしては、とくに静岡と深いつながりが見られる「水前寺」、「人吉」、「天草」とする。

2. 水前寺、人吉、天草

(1) 水前寺と東海道

正式名称は,「水前寺成趣園」と言う. 水前寺 公園の成立は、「肥後細川藩初代忠利公が鷹狩の 砌(みぎり)、渾々と清水が湧くこの地を殊の外 お気に召され、御茶屋として作事された(中略) 綱利公の代に大規模な作庭がなされ、 桃山式の優 美な回遊式庭園が完成. 陶淵明の詩(帰去来辞) より成趣園と命名(中略)華やかな元禄時代には 東屋も沢山あり、成趣園十景を選んで楽しまれ(中 略) 重賢公の代、宝暦の改革で建物は酔月亭一つ を残して撤去され、樹木も松だけの質素なものと なり(中略)護久公の代には版籍奉還で一時官有 地(中略)明治11年10月7日、成趣園を境内地 として細川藤孝公・忠興公以下歴代藩主を祀る出 水神社が創建され今日に至(後略)」(HP:水前寺 成趣園). すなわち、同園は熊本細川家によって この地に作られたものである。図 -1 は同園入り 口からの全景であるが、この図を見ていただくと 中央に突き出た裾の長い築山、右側にはそれにつ づく平坦地、手前には池が広がっている.

実は水前寺公園は「東海道」の景勝地を模して 造園されたものと言われており(これは一説であ り、定説ではないが)、「突き出た裾の長い築山」 は「富士山」,「つづく平坦地」は「東海道」を表現していると言う.静岡市には東から,駿河湾を取り囲むように蒲原宿,由比宿,興津宿,江尻宿,そして府中の五宿がある.水前寺公園には駿河湾や三保の松原を模したと思われる箇所もあり,静岡と水前寺公園とのつながりが見られる.図 -2は,同園奥側からの全景である.



図-1 水前寺成趣園① (HP:満遊!くまもと)



図-2 水前寺成趣園②

(2) 人吉と旧榛原郡相良町

熊本の人吉と静岡の旧榛原郡相良町(現,牧之原市の一部)も、歴史的に強い結びつきがある。源頼朝に

思よる静岡遠江の相良氏の人吉移封のことである。人吉城主の出自が静岡遠江の相良氏であることは人吉ではよく知られているであろうが、逆に旧榛原郡相良町にとっては、それほど身近な歴史的な事実ではない。というのも、旧榛原郡相良町は、江戸時代には田沼意次の領地であり、そのため意次のネームバリューが高く、「田沼街道」をはじめとして、「田沼」の名跡が多く見受けられるからである。

そもそも相良氏の人吉移封の理由としては、牧之 原市相良史料館によれば、頼朝の逆鱗に触れて肥 後国球磨郡多良木荘へ追放された「追放説」と. その後に頼朝に許されて功をあげたことによる 「栄転説」が存在しているとのことであり、明白 な歴史的見解は未だ確定していない. いわゆる「歴 史のミステリー」としての空白のため、静岡では、 相良氏のことがそれほどひろく、知れ渡っていな いのかも知れない. そのようなこともあって、静 岡では相良氏の存在が小さいが、逆に人吉では、 明治までつづいた相良の殿様として、親しみを持 たれている. このように歴史的に結びつきの深い 人吉と牧之原は、現在、「友好都市」として連携 を深めている. 図 -3 は、JR 人吉駅前で SL 人吉 号での来客を出迎える「相良藩甲冑隊」(中央が 筆者), 図-4は, 牧之原で開催される「ひとよし(熊 本)・牧之原(静岡)物産展」のチラシである.



図-3 相良藩甲冑隊



図-4 ひとよし (熊本)・牧之原 (静岡) 物産展

(3) 上天草と西伊豆

西伊豆は「海の幸」,「温泉」,「マリーンスポーツ」に恵まれ,景観も「夕陽のまち」として絶景である. それに「恋人岬」には多くの若者が集い, 西伊豆は静岡県の中でも最高の観光レジャー・スポットである. 上天草も西伊豆同様に「海の幸」,「温泉」,「マリーンスポーツ」, そして「夕陽のまち」として有名である. その西伊豆と上天草の海岸が極めて似ている. 上天草には干潮時に海岸から島までの道が現れるとのことだが(図 -5), 西伊豆も堂ヶ島がそうである. 西伊豆はフェリーで清水(静岡市)と結ばれており, 上天草はやはり同様に,八代とフェリーで結ばれている.



図-5 上天草にある干潮時に道が現れる島

上天草では、「温泉」、「海の幸」、「夕陽のまち」、これらの資源をブランド化して全国的に発信をしようと市をあげて現在、「ブランド推進室」が中心となり、精

力的な取り組みを行っている. その一環として,「ブランド物産一覧」の冊子が出来上がっている(図-6).



図-6 上天草市「ブランド物産一覧」 たこ

西伊豆でも、民間青年部により、西伊豆の魅力を「ひとつ」にまとめあげ、まとめあげた魅力を静岡市も含めての外部へ精力的に発信していこうと活動がなされている。静岡市商圏からの観光客誘致のさらなる促進と西伊豆の物産の販売網拡大を目指してのことである。しかしながら、現状では青年部の魅力発信活動は個々別々であるため、伊豆西海岸の魅力を「ひとつ」にまとめて静岡市に強力に発信をするという「絞り込み」が未だできていない。

3. 熊本と静岡の広域観光連携私案

前節では、熊本と静岡の深い結びつきを物語る「水前寺」、「人吉」、「天草」を紹介した. 以下、それを踏まえて、広域観光連携私案を述べてみたい.

まず、水前寺公園であるが、かっては熊本の修学旅行先では必ず訪れる名所であったけれども、近年では、訪れる修学旅行生も少ない. 再び熊本の観光スポートとして回復させるには、やはり同園の魅力を発信していくしかないと考えている. そこに、静岡との連携を画策したい. つまり、同園の魅力と言うと、前節で紹介したように、東海道を模した点 (一説ではあるが)である. そこで、次の二つを、水前寺公園の活性化策として提案したい. 1) 水前寺公園は東海道を模して作られた庭園と聞いている. そこでこの水前寺公園で、東海道の宿場を集めて「東海道宿場サミット」を開催するのはいかがであろうか、2) あわせて、東海道の「食」をテーマとした祭典も立ち上げられないもので

ものであろうか、例えば、鞠子のとろろ汁、等. 東海道というと熊本の方にとっては身近に感じられないだろうが、だからこそ、細川公は東海道を模した庭園を造られたのであろう。そのサミットにあわせて、例えば図-7のような「東海道の旅人」を「ゆるキャラ」として作り上げれば、大きな情報発信の力となると考える。

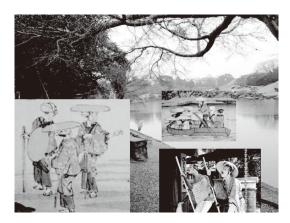


図-7 水前寺公園の「東海道の旅人」

水前寺公園での東海道宿場サミット,東海道の食の祭典の開催は、細川公の思いにもつながると考えるが、いかがであろうか.

次に、人吉であるが、伊豆修善寺との連携はいかがであろうか。伊豆修善寺は鎌倉二代将軍の頼家が修禅寺に幽閉された地であり、修禅寺のほとりには桂川が流れ、湯治場の歴史がある。桂川と規模は異なるものの、人吉を流れる急流の球磨川。球磨川沿いには、人吉温泉元湯をはじめ温泉場が広がり、国宝の青井阿蘇神社がある。伊豆修善寺はシイタケだが人吉はキクラゲの山の幸に恵まれている。人吉は相良氏の居城であり、伊豆修善寺は源氏にゆかりが深い。探せば、おそらく両地の共通点は、まだまだ出てくるだろう。人吉と修善寺がこのように似通し出す温泉地だからであると、筆者は考えている。

特に、修善寺の「源氏」と人吉の「相良氏」とで連携はいかがであろうか。というのも、現在、人吉では官民一体で大いに取り組んでいるものとして、「泉極[せんごく]SAGARA」がある(図-8)。これは「人吉球磨温泉めぐりモバイルラリー」であり、官民による「ひとよし・くま旬夏秋冬キャンペーン実行委員会」(会長・田中信孝人吉市長)が企画している。その概略は、「各施設に掲示されたポスターのQRコードを携帯電話で読み込み、制覇湯数を増やして"天下湯ー"を目指」すことで、「無名武士」からスタートし、施設を多く回ると「相良家の傭兵」「筆湯家老」などと階級が上がっていく仕組み」の湯めぐりキャン

ペーンである. 「3施設を"制覇"するたびに5 千円相当の特産品か人吉産米が当たる抽選の応募権を獲得. 全施設を制覇すると, 特製の湯おけと 手拭いがプレゼントされる」(熊本日日新聞, 2011年11月9日付).



図-8 泉極 [せんごく] SAGARA

人吉の「"天下湯一"」、「人吉球磨温泉めぐりモバイルラリー」は、人吉の相良氏を題材にした「歴史と温泉での地域おこし」である。そこで、人吉と伊豆修善寺とは、伊豆修善寺の「源氏」と人吉の「相良氏」という「歴史」の観点で、連携交流をはかれないものだろうか。具体的には、源氏と相良氏を題材としての「修善寺・人吉温泉めぐりモバイルラリー」企画、両温泉地で互いの物産の展示・販売、「食文化」の交流(人吉のアユ、修善寺の黒米、等)である。

最後に、天草であるが、西伊豆との連携で、情報冊子「上天草・西伊豆 ブランド・セレクション」の作成と一般公開、上天草と西伊豆の温泉、食、景観等のポスター展示、両地の物産紹介市を開催するという企画はいかがであろうか。その情報冊子の作成の全段階で学生に参加してもらい、学生と地元、中小企業、行政との連携を活性化させることで、地域としての結びつきを強固にしていくことも考えられよう。両地の物産紹介市は、ともに海の見えるスポットで開催するのがベストであろう。図 -9 は清水にある複合商業施設エスパルスドリームプラザである。



図-9 エスパルスドリームプラザ外観 (HP: ハローナビしずおか)

手前が清水港であり、観覧車向かって右に、多目的広場がある。また、清水で天草と西伊豆の物産紹介市を開催するだけではなく、天草の海の玄関口である八代でも同様の物産紹介市の開催を企画すれば、両地の連携による地域づくりの相乗効果が高まるであろう。さらに上天草市と西伊豆との間で、文化交流(祭りなど)、人的交流(ツーリズムなど)、教育間交流(こども大使の交流など)が開始されることも期待したい。

4. おわりに

以上、深いつながりのある熊本と静岡をいかに 連携させて観光振興・まちづくりを考えるかにつ き、構想私案を述べてきた. この構想私案が、民・ 学・官の協働で実現できるよう、今後とも働きか けをしていきたい.

引用文献

- 1) 熊本日日新聞「"天下湯一"目指せ 人吉球磨で湯め ぐりキャンペーン」, 2011年11月9日付.
- 2) 相良町「相良氏の成立と発展」, 『相良町史』通史編, 上巻, 1993年, pp. 251-281.
- 3) 前寺成趣園, http://www.suizenji.or.jp/index.html.
- 4) ハローナビしずおか、http://hellonavi.jp/.
- 5) 満遊!くまもと,http://www.manyou-kumamoto.jp/. (2013.2.26 受理)

◇◇◇観光まちづくり学会誌 10 年のあゆみ◇◇◇

論文

Vol.	タイトル	著者
1	日本の農村部の地域社会発展のための日仏エコミュージアム	安藤昭、及川立一、佐々木栄洋、
(2003年)	の比較研究	赤谷隆一、南正昭
	観光地における火山防災地域づくり計画について	阿部賢一、安藤昭
2	盛岡市における都市景観建築賞の選考基準の検討について	水出佳奈、安藤昭、赤谷隆一
(2004年)	宮守川、吸川を例とした公共事業(地域づくり)への住民参加	中澤昭典
	の効果の検証	
	三陸沿岸域における着地型観光列車導入の課題と展望	中嶋雄介、安藤昭、赤谷隆一、田
		村大輔
3	CG による毛越寺の再現と景観の解析	長谷川順一、来迎高志、安藤昭、
(2005年)		赤谷隆一、南正昭
	コミュニティ街路の空間構成と歩行者挙動	青山佑介、南正昭、安藤昭、赤谷
		隆一
4	歴史的自然である姫神山稜線へのウィンドファーム設置のた	越後屋雄士、安藤昭、赤谷隆一、
(2006年)	めの景観的検討	南正昭
	北海道オートキャンプ場における事業の特性に関する調査研	原田房信
	究	
5	風車(風力発電機)を対象とした識別距離の検討	越後屋雄士、安藤昭、赤谷隆一、
(2007年)		南正昭
	大規模都市整備事業下での生活環境に関する住民意識調査	谷本真佑、南正昭、安藤昭、赤谷
		隆一
6	文化的景観保護制度にかかわる地域遺産の選定方法に関する	佐々木栄洋、安藤昭
(2008年)	研究 -遠野市における重要文化財的景観の選定を事例として-	
7	銀河都市論	安藤昭、原田房信
(2009年)	東北地方における地域景観の評価に及ぼす昆虫音(セミ科・コ	安藤昭、小形友美
	オロギ科) の促進と抑制に関する研究	
	宿泊施設の歴史的価値に関するヘドニック分析 -福島県いわ	米本清、渡辺美紀子、小野愛実
	き市を例として-	
	宿泊施設の稼働率と費用に関する一考察	芥川一則、塚野加奈子
	市町村合併と人口集積に関する一考察 -福島県いわき市と郡	芥川一則、永田瑠実
	山市を事例に-	

8	中世を導く奥州最大の古代都市 平泉の都市デザインに関す 安藤昭			
(2010年)	る研究 -都市の発達モデルに関する基礎的研究-			
	札幌市豊平区におけるごみステーションの景観評価について	安藤昭、横枕秀和、久慈裕哉		
	発地型観光と着地型観光の構造比較に関する一考察	芥川一則、渡邊彩ゆこ		
9	観光ラフティングによる盛岡・北上川の河川景観の地域ブラン	安藤昭		
(2011年)	ド化に関する研究			
10	散策観光における Wi-Fi を活用した情報提供のあり方~北上川	細野昌和		
(2012年)	親水散策観光を想定して~			
	観光ラフティングによる北海道ニセコ尻別川の地域ブランド	安藤昭、原田房信		
	化に関する研究 ―アウトドアスポーツ・ツーリズムに関する			
	基礎研究			

研究・ノート

Vol.	タイトル	著者
1	高校生からみた馬淵川公園の現状および改修設計案	佐々木貴弘、阿部旭、一守幸治、
(2003年)		久保徹、瀧澤直登
2	市町村合併における財政的効果に関する一考察	村上功
(2004年)	風車(風力発電施設)を伴うランドスケープデザインに関する	中川雅晴、安藤昭、南正昭、赤谷
	一考察	隆一、越後屋雄士
3	高校生による二戸市都市景観賞の選考	佐々木貴弘、小笠原拓也、倉石直
(2005年)		樹、高峰雄介、立花一朗、松原優
		輝
4	観光まちづくりのための高齢者観光の実態に関する研究	安部信行、長谷川明
(2006年)		
5	中世を導く奥州最大の古代都市・平泉の都市デザインに関する	安藤昭、赤谷隆一、河野泰浩、南
(2007年)	研究 -都市の発達モデルに関する基礎的研究-	正昭
9	東日本大震災特別寄稿-新たなまちづくりへ- 広域都市計画	安藤昭
(2011年)	の視点が課題 軸状分散連携型コンパクトシティの提案	
	産学官連携の「学」の役割に関する一考察-地域公共交通確保	芥川一則
	維持改善事業を事例に一	
10	熊本と静岡の広域観光連携私案:水前寺,人吉,天草	新田時也
(2012年)	特別寄稿-三陸復興国立公園の創設と東北海岸トレイルに関	高橋瑛子
	する取り組みについて	

報告

Vol.	タイトル	著者
5	A PERSPECTIVE OF ROAD DEVELOPMENT IN THE	Ryuichi OIKAWA-
(2007年)	LEAST DEVELOPED COUNTRIES -A view based on the	
	research study in Cambodia —	
	おとぎの国遠野に河童がいた	杉田修一
9(2012年)	観光まちづくりにおけるプラットフォームの形成と展開	工藤順

紀行文

Vol.	タイトル	著者
1(2003年)	巨象に触れる	佐々木康勝
2(2004年)	アフリカでの体験	渡辺和夫
3(2005年)	モンゴル鉄道調査の旅	武田邦夫
4(2006年)	韓国済州新羅ホテルインターンシップ	芥川一則
5(2007年)	障害を持つ人たちと行く沖縄観光	宮井久男
6(2008年)	韓国での心の交流	石原朝子

シリーズ~世界の都市~

Vol.	タイトル	著者
1(2003年)	ドイツの緑豊かな住宅地づくり	安藤昭
2(2004年)	先駆者たちの街 , バークレー	南正昭
3(2005年)	日本から最も遠く最も近い都市、クリチーバ-	佐々木栄洋
4(2006年)	大熊猫の故郷成都と世界遺産(黄龍・九寨溝)	米谷光正
5(2007年)	パース -世界で最も住みたい都市-	木村一裕
6(2008年)	エジプトの都市と世界遺産	佐々木康勝
7(2009年)	シンガポール -躍動する都市国家-	原田房信
8(2010年)	中国上海の変貌	呂 杰

シリーズ~ニューアーバニズムの予感~

Vol.	タイトル	著者
9	多様な感性と価値観	中澤昭典
(2011年)	震災後の街づくりを考える	水田邦彦
10	"特に何も無い"心地よい盛岡の日常	中澤昭典
(2012年)		

平成 24 年度活動報告

観光まちづくり学会いわき大会第 11 回研究発表会プログラム

日時 平成24年10月27日 15:00~18:10

場所 スパリゾートハワイアンズ 福島県いわき市常磐藤原町蕨平50

発表時間(発表時間20分+質議10分)

	A 会場 座長 北海商科大学 安藤 昭
15:00 ~ 15:30	観光ラフティングによる北海道ニセコ尻別川の地域ブランド化に関する研究 -アウトドアスポーツ・ツーリズムに関する基礎研究- 北海商科大学 安藤 昭 原田 房信
15:30 ~ 16:00	散策観光における Wi-Fi を活用した情報提供のあり方 北海商科大学 細野昌和
16:00 ~ 16:30	クレジットカードの特徴に関する分析 福島工業高等専門学 小島 礼 芥川 一則
	休憩(10 分間)
16:40 ~ 17:10	BSC を活用した中小企業の事業開拓に関する一考察 福島工業高等専門学校 會田のぞみ 芥川 一則
17:10 ~ 17:40	強化学習を用いたカブロボの売買手法の提案 福島工業高等専門学 小沢 拓矢 湯川 崇
17:40 ~ 18:10	Kinect を用いた仮想空間の移動手法の開発 福島工業高等専門学 鈴木 達也 湯川 崇

	B会場 座長 福島工業高等専門学校 徐 艶濱
15:00 ~ 15:30	津波による橋梁被害と今後の対策 -2011 年東北地方太平洋沖地震被害から- 八戸工業大学 長谷川 明 中村悠人 (株) 長大 虻川 高宏
15:30 ~ 16:00	いわき市における東日本大震災の非市場的影響 福島工業高等専門学校 小野 聡美 芥川 一則
16:00 ~ 16:30	地域住民組織におけるリーダーシップとマネジメントに関する研究 一町内会・自治会調査の再分析から一 福島工業高等専門学校 村上裕紀 高萩 航 松本 行真
	休憩(10 分間)
16:40 ~ 17:10	コンビニエンスストア業界の財務分析 福島工業高等専門学校 松田 美穂 渡部 美紀子
17:10 ~ 17:40	放送業界の財務分析 福島工業高等専門学校 三浦 めい 渡部 美紀子

発表要旨

A会場

観光ラフティングによる北海道ニセコ尻別川の地域ブランド化に関する研究 -アウトドアスポーツ・ツーリズムに関する基礎研究-

> 北海商科大学 安藤 昭 北海商科大学 原田房信

ニセコ地域は、北海道の西南部に位置し、ニセコ積丹小樽国定公園の一角を占めている。東に国立公園名峰羊蹄山(標高 1,898m)。西から北にわたって連なる国定公園ニセコ連峰、この裾野に広がる豊かな丘陵地帯の中央部を貫流しているのが清流尻別川である。その源流はフレ岳(標高 1,046m)西方に発し、喜茂別川、ベーベナイ川、真狩川、昆布川等の支流を合流しながら、狭窄部を流下し、田園地帯を経て日本海に注ぐ、流域面積 1640km²、流路延長 126km の一級河川である。

尻別川は、国土交通省によって平成23年度全国1級河川の平均水質(BOD)ランキングで1位に選出された美しい河川であり、アユ、サケ、サクラマス、イトウ等(魚類)が生息し、エゾハルゼミ(昆虫類)、カワセミ、ヤマセミ、セキレイ、コハクチョウ、カモ、オジロワシ(鳥類)が生息し、カタクリ、ミクリ、エゾエンゴサク、キバナシャクゲ、ハマハコベ、オースゲ(植物類)を鑑賞できる生物的環境の豊かに保全された河川である.

尻別川流域は、北海道後志地方中央部の社会・経済・文化の基盤を成し、北海道有数の農業地帯であり、馬鈴薯、アスパラガス、米の名産地として知られている。また、蝦夷富士と呼ばれる羊蹄山やニセコ・ヒラフスキーリゾート地は北海道観光の中枢となっており、海外からの不動産投資も急増している。

交通環境は,JR 函館本線,国道 5 号,229 号,276 号,393 号等の基幹交通網が形成されており, 千歳,小樽,札幌間の物流及び地域間交流・国際交流等において大きな役割を果たしている.

平成7年(1995)当時,冬期のスキーによる観光しかなかった北海道ニセコ地域に、ラフティング等の夏型の体験観光の魅力を最初に導入し起業化したのはロス・フィンドレー氏(48歳:オーストラリア人)である. 起業当初は、わずか1、500人/年の乗船客であったが、17年を経た平成24年現在では約80、000人/年/7社の乗船客があるという.

このような中、一般に我々日本人は、近代化過程の中ですっかり水辺(河川)環境から遠ざかってしまった。本研究は、近代化過程の修復の一環として、北海道の観光ラフティング発祥の地として著名なニセコ尻別川を対象に、観光ラフティング(アウトドアスポーツ)による河川景観の地域ブランド化の課題と展望を明らかにすることを目的にしている。

散策観光における Wi-Fi を活用した情報提供のあり方 ~ 北上川親水散策観光を想定して ~

北海商科大学 細野昌和

【はじめに】

観光情報には、観光行動を起こす前の発地向けの情報と、観光行動中に必要な着地における情報がある。従来、観光情報の多くは前者が占めてきた。一方、着地での情報はあまり重視されてこなかったといえよう。しかし、一人ひとりが町や自然を散策する、いわば散策観光においては、行動支援のための情報が不可欠であり、近年提供方法と内容の見直しやモバイル ICT の活用が模索されている。

【目的】

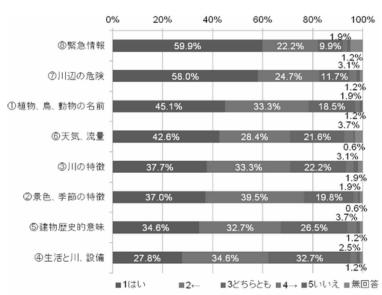
モバイル ICT を利用した情報提供には、それを伝えるための情報端末とインフラが必要である。本研究では、Wi-Fi 機能を備えているスマートフォンを情報端末として活用することを検討した。一方、インフラとしては、既に完成され広く普及している技術として公衆 Wi-Fi を想定した。本研究では、観光客のスマートフォンと公衆 Wi-Fi により、散策に必要な情報などを提供することの可能性を探り、また、求められる情報の内容を明らかにすることを目的とした。

【方法】

北上川学習交流館あいぽーと一関を訪れる中学生以上の来館者を調査対象者とし、親水散策観光を想定して質問紙に回答いただいた。回答後の質問紙は、その場で回収した。調査期間は、平成23年(2011年)7月2日から同年8月24日であった。

【結果と考察】

Wi-Fiを利用してスマートフォンで情報 提供がなされるという、具体的なメリット を想定した場合の利用意向を訊ねた結果、 「1. ぜひ使ってみたい」が37.7%、「2. 興味がある」が48.1%と、両者の合計は 85.8%にものぼり、その有効性の高さが示された。



活動場面で知りたい情報 n=162

また、親水散策観光において知りたいと思う情報は、自然や景観、歴史などに関する内容より、 安全や防災に関連するものが多くの対象者に求められた。着地で求められる観光情報は、楽しみ のための内容だけでなく安全、防災まで行動を支援する内容が求められることが明らかになった。

クレジットカードの特徴に関する分析

福島工業高等専門学校 専攻科 小島 礼 福島工業高等専門学校 芥川 一則

1. はじめに

クレジットカード利用者は急速に拡大し、家計が頻繁に使う決済手段のひとつとなっている。電子マネーの普及の現状などから、今後はキャッシュレスの時代になると予想される。本研究は、まず、日本国内において発行されているクレジットカードの特徴を調査し、データとして整理する。この結果から、クレジットカードの現状と今後予想されるクレジットカード業界の動向や経営戦略についても論じる。

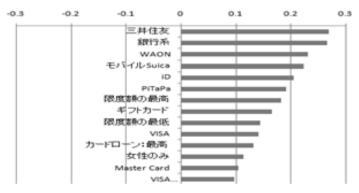


図1:主成分2「金融サービス」の固有ベクトル

2. 主成分分析

本研究で、主に web サイトを参考に日本国内で発行されている代表的なクレジットカードの中から 146 枚のデータを選択し、収集した。集めた数値データの項目は、カード名、提携ブランド、ステータ ス、申込み資格、年会費、還元率、支払い方法などである。それらのデータをもとに主成分分析を行い、クレジットカードの特徴の分析を行った。

XI・凹行順衣		
主成分	固有値	寄与率
高級度	7.87	10.09%
金融サービス	5. 73	7. 35%
国際ブランド	5. 2	6. 67%
ローン関連	4. 77	6. 12%
手軽さとおトク感	3. 77	4. 84%
収入への依存	3. 53	4. 53%
日常の利便性	2. 85	3. 65%
高割引率	2. 56	3. 29%
特定ブランド	2. 44	3. 13%
交通	2. 33	2. 99%

表1:固有值表

主成分分析の結果より、固有値の高いものから 10 個の主成分を導出し、名称を付けた。10 番目の主成分までの累積寄与率は 52.66%であった。下の図は、主成分 2「金融サービス」の固有ベクトルである。

次に、10 個ある主成分のうち 2 つずつを縦軸と横軸にとって、散布図を作成した。図 2 は横軸に 主成分 5 「手軽さとおトク感」を、縦軸に主成分 8 の「高割引率」を配置した散布図である。

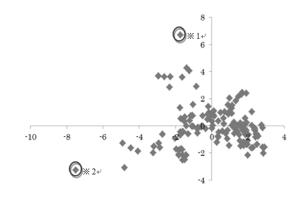


図2「手軽さとおトク感と高割引率」

3. 結論

本研究では、計量的手法により、クレジットカードに関わる一般的な特徴を明らかにすることができた。その結果、高級度、金融サービス、国際ブランド、ローン関連の寄与率が高いことが分かった。

貯まったポイントを商品に交換するよりも、PASMOや Suica にチャージできる交通系のシステムがあるカードの方が、お得感や利便性があると考えられる。

BSC を活用した中小企業の事業開拓に関する一考察

福島工業高等専門学校 専攻科 會田のぞみ 福島工業高等専門学校 芥川 一則

1. はじめに

ステークホルダー重視経営が叫ばれるようになった昨今において、企業はますます企業価値の向上に注力しなければならなくなった。企業価値向上のためには様々な手段があり、その一つに「事業開拓」がある。事業開拓と一言で言っても、多くの新規事業は失敗に終わっているのが現実だ。新規事業は「千三つ」であり 1000 個のアイディアのうち 3 つが成功すれば良く、優れたアイディアと資金があれば成功するとは限らないのである。新規事業の失敗は、特に資本の少ない中小企業にとって経営悪化、更には倒産に直結することもある。それゆえに、企業にとって新規事業はハイリスク・ハイリターンであると言える。しかし、事業環境変化の激しい今日において、リスクを恐れ事業開拓しなければ企業は生存出来ない。従って、事業開拓の際のリスクを最小限に抑えることが、企業にとっては必要不可欠である。事業失敗の原因の多くは、戦略が具体化されていないところに要因の一つがあると考えられる。

また、事業として継続できる仕組みをきめ細かく展望しなければビジョンは実現しない。そこで、ビジョン達成の手段として近年注目されている経営管理手法が Balanced Score Card (以下 BSC と表記する) である。BSC の目的は企業の目的と同様、革新を生み出し持続的に成長することによって、ステークホルダーに満足を促すことであり、それはすなわち「ビジョンの実現」である。さらに、BSC

は戦略志向の経営システムであるため、事業失敗の主な原因である戦略の具体化不足を解決できる可能性を秘めている。

2. 目的

本研究では、中小企業において実際にBSCを導入し、新たに事業を開拓することを目的としている。BSCは組織の大小に関係なく導入できるが、中小企業にとって導入のメリットは大きいと考えられる。その理由として、①組織が小規模であるためトップの決断が素早く組織内に伝達される、②BSC作成にコストがかからない点をあげることができる。そこで、本研究ではBSCがどのように中小企業の経営に影響を与えるのかを事業開拓という視点から検討する。

3. BSC

BSC は戦略を具体化・実行するための経営管理の考え方の集合体である。企業の指針となるビジョンを明確にし、その実現のために必要な戦略を立案する。そして、戦略実行における課題と課題解決に向けて成すべきことを成果指標と共に示す。

BSC の特徴は、戦略の策定方法にある。それはビジョンと戦略を4つの視点に落としこむ点である。4つの視点とは、①財務、②顧客、③業務プロセス、④学習と成長である。これらの視点は互いに因果関係を持っていなければならず、因果関係を考えずに戦略目標を作成してもビジョンの実現には繋がらない。

初期にBSCを導入した企業は、組織全体を戦略に方向付けることで成功した。戦略に焦点を合わせ、 方向付けを行う組織を「戦略志向の組織体」という。このような組織になるためには、5つの原則が ある。

- ①戦略を現場の言葉に置き換える。
- ②組織全体を戦略にむけて方向づける。
- ③戦略を全社員の日々の業務に落とし込む。
- ④戦略を継続的なプロセスにする。
- ⑤エグゼクティブのリーダーシップを通じて変革を促す。

4. 導入事例

中小企業にBSCを導入した事例として、社団法人 中小企業診断協会 静岡県支部の例を取り挙げる。 BSC 導入の欠点をカバーし、より導入しやすいものとするための手順を明確にした。実際の導入事例 をみてみると、BSC 作成には中小企業診断士の関与が非常に大きいことが分かる。従って今後は、経 営者だけで作成可能な導入手順を開拓する必要がある。

5. 結論

事業環境の変化が目まぐるしい今日において、ビジョンを達成するために戦略を立案し遂行することは、企業の存続に必要不可欠である。そのため、戦略志向である BSC は事業開拓の際の有効な手法であると考えられる。特に企業の規模が小さい中小企業において BSC は導入されやすいといえるため、今後は東日本測量株式会社に協力を依頼し、実際に BSC を実施・展開する。

強化学習を用いたカブロボの売買手法の提案

福島工業高等専門学校専攻科 小沢拓矢 福島工業高等専門学校 湯川崇

1. はじめに

近年,カブロボ・コンテストの開催によって,売買ルールを自律的に学習する学習型のカブロボの研究が進められている.一般的に,学習型のカブロボの作成には強化学習が用いられる.強化学習では学習する主体がある環境において観測した「状態」に基づいて「行動」を起こし、その

結果として次の状態に遷移するとともに「報酬」を得るというサイクルを繰り返す. その際に, 行動価値関数や状態価値関数を更新することで学習が進行していく.

本研究では強化学習の手法として、ある状態においてとりうる行動のうち最も行動価値(Q値)の高い行動を選択する手法である「Q-learning」を用いることにより、上昇相場や下落相場、上昇・下落のどちらともいえないレンジ相場などの相場において、柔軟な売買ができるカブロボを提案する。そして、強化学習を用いていないカブロボとして 4 点チャージ法によるカブロボを作成し、両者の比較を行うことにより提案手法の有効性を示す。

2. 強化学習を用いたカブロボ

本研究で提案するカブロボでは、始値・終値・高値・安値を組み合わせたローソク足を作成し、前営業日と前々営業日のローソク足2本の組み合わせ(2本足)を「状態」と定義する. 作成された2本足において行動価値関数が最大となる「行動」にしたがって購入の成行注文を出すかまたは購入の見送りを行う. 購入を行った場合のみ翌営業日に売却処理を行い、株式の購入金額と売却金額の増減率を「報酬」としてカブロボに与える. これにより、カブロボはある相場の状態を表す2本足において、最適となる売買行動を学習する.

3. 実験と評価

2 章の定義に基づいて強化学習を用いたカブロボを作成した. 売買シミュレーションに使用する株価はカブロボで指定されている 50 銘柄を用いた. 2004 年, 2005 年の 2 年間を学習期間, 2006 年の 1 年間を評価期間とした. 初期資産は、カブロボ・コンテスト同様、5000 万円とした.

強化学習を用いたカブロボと 4 点チャージ法を用いたカブロボを用いて株式売買のシミュレーションを行った. 用いた評価指標および実験結果は表 1 の通りである.

評価指標	強化学習	4点チャージ法
勝率	57.02%	49.38%
平均利益	7.67%	6.51%
平均損失	-3.48%	-4.80%
取引回数	349	81
年率換算利回り	12.25%	3.21%
PF(倍)	3.40	1.33
最大ドローダウ	18.27%	6.21%
ン		
リスクレシオ	0.67	0.52

表 1 実験結果

4. 結論

評価実験の結果, 勝率, 平均利益, 平均損失, 取引回数, 年率換算利回り, PF, 最大ドローダウン, リスクレシオから提案手法の有効性を示すことができた. このことにより, 強化学習を用いたカブロボはさまざまな相場において, 利益をあげられることが分かった.

Kinect を用いた仮想空間の移動手法の開発

福島工業高等専門学校専攻科 鈴木 達也 福島工業高等専門学校 湯川崇

1. はじめに

近年、3D 技術を用いた仮想空間をコミュニケーションの場として提供するサービスが登場し、その数は増加傾向にある。3D の仮想空間では、ユーザはアバターという自分自身の分身を操作することで 3D の仮想空間内での移動や他のユーザとのコミュニケーションを行う。この特長があることから、3D の仮想空間は個人的に利用されているだけではなくビジネスシーンでも利用されている。最近では、仮想空間はEコマース、企業のプロモーション、採用活動、コミュニティの形成など幅広い分野で活用されている。

仮想空間は多くの分野の注目を集めている一方で仮想空間を悪用した犯罪や、仮想空間の操作性の問題、過度な没頭による中毒化など様々な問題を抱えている。特に仮想空間の操作性の問題は仮想空間の大きな課題となっている。

2. 目的

本研究では、アバターの操作性の問題を改善することを目的として、ゲーム機用のコントローラとして普及している Kinect を用いてジェスチャを認識させてアバターを操作する手法を提案する。 Kinect はコントローラを手に持たずに身体を使って画面の操作ができるという特長がある。 また Kinect は家庭用ゲーム機のデバイスとして市販されているため安価に入手可能である。この特長から、本研究では Kinect を用いてユーザのジェスチャを認識し、操作性の改善に役立てる。 アバターの動作をイメージしやすいジェスチャを用いることで直観的なアバターの移動操作が可能になり、操作方法の習得に時間が掛かったりという問題や操作を間違えてしまったりするという問題が改善されることが期待できる。



図1 操作画面の一例

3. 評価実験

提案手法の有効性を検証するために、ジェスチャを Kinect に認識させてアバターを動かし迷路を移動するアプリケーションを開発した。図 1 は操作画面の一例である。このアプリケーションと従来使われているキーボードを用いたキー入力によるアバターの操作方法に対し評価実験を行い、両者の比較を行った。評価実験では、ユーザによる「楽しさ」、「直観的に操作できたか」、「使いやすさ」についての評価および、それぞれの入力方法でのクリアタイムの比較、ジェスチャ入力についての意見を調査した。

4. 結論

評価実験の結果から、ユーザにとって直観的な操作が可能になったことや、楽しみながら操作ができることが分かり、提案手法は操作性を改善することができたといえる。 しかし、ユーザによってはジェスチャ認識の誤りが発生することや、長時間の使用によって手が疲れるなどの理由から提案手法は使いにくいといえる。そのため、今後の展望としては、ジェスチャ認識の誤りを無くすためにジェスチャの改善や、長時間の利用で手が疲れないようにジェスチャの度に手のトラッキングができるようにする必要が考えられる。

B会場

津波による橋梁被害と今後の対策

八戸工業大学大学院 長谷川明 八戸工業大学大学院 中村悠人 (株)長大 虻川高宏

1. はじめに

2011 年東北地方太平洋沖地震によって多くの構造物に被害が発生したこの被害によって、多くの人命や財産が失われた.特に、沿岸部では実施後に襲来した津波による被害が甚大であった。多くの人命は、この津波によって失われている。再発を防ぐためには、被害の実態を把握し、今後の対策を検討しなければならない.構造物の被害を橋梁で見てみると、地震動による被害は少ないものの、津波で多くの橋梁が損傷や流出などの被害を受けた.これらの被害は、震災後の人命救助、救援のための人員や物資の輸送に大きな障害となった。一部の仮橋が復旧している現在も、地域のくらしや産業の復興に大きな影響を与えている。これらの被害を繰り返さないために被害の実態を調査し、今後の対策を検討した。被害の実態調査では、国土交通省をはじめ関係行政機関の協力を得て、資料による被害調査と、数回にわたる現地調査を行った。また、橋梁の剛体としての安定計算を実施し、流速、抗力係数、揚力および桁高について考察した。これらの調査および計算から、今後の橋梁対策について検討した。

2. 津波の影響と耐荷力に関する被災度

図-1 は、津波の影響をうけた橋梁と受けなかった橋梁の、耐荷力に関する被災度の比較を示したものである。図中、As は落橋、A、B、C はそれぞれ大、中、小被害、および D は無被害である。調査対象は、国土交通省東北地方整備局点検橋梁の全1572橋である。 津波の影響を受けた橋梁の被害が大きいことが示されている。また、橋長の違いで、被害を比較してみると、橋長が長い方が大きな被災を受けている。

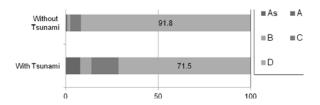


図-1 津波の影響と耐荷力に関する被災度(%)

3. 津波を受ける橋梁の安定計算

津波を受ける際に発生する橋梁への力を、水平抗力、鉛直抗力および浮力とし、いくつかの仮定をしながら、橋梁の剛体としての安定計算を行った。図-2 は、抗力係数 Cd=2、流速 q=3m/secとして、水平摩擦抵抗を自重から浮力を差し引いた力の 60%、自重の 20%および、鉛直方向、回転に関する安全率を計算したものである。橋桁の高さを低減すると安全率が向上することが示されている。

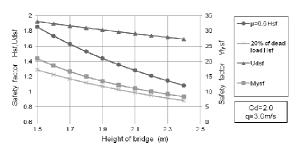


図-2 橋桁の高さ(地覆を含む)と安全率

4. おわりに

表記の他、資料および調査から、橋梁の形によって被災が異なることが示されている。今後、 実験的検証によって、橋梁の津波対策の検討を続けたいと考えている。調査に協力いただいた国 士交通省はじめ関係各位に感謝申し上げます。

いわき市における東日本大震災の非市場的影響

福島工業高等専門学校専攻科 小野聡美 福島工業高等専門学校 芥川一則

1. はじめに

平成23年3月11日に起きた東日本大震災は、東北の沿岸部を中心とした広範囲の地域に大きな爪痕を残した。本研究では、東日本大震災から住民が受けた被害のうち、海や山などの観光資源の価値に注目し、このような非市場的価値の算出に関わる経済学理論を応用し、震災前後でいわき市内の観光資源の価値がどれだけ変動したのかを算出することを目的としている。

2. トラベルコスト法

本研究では、いわき市商工観光部観光物産課の「市内観光交流人口(平成17年~23年)」より、非市場的な財・サービスのみを抽出し、各ゾーンの人口重心地から各観光地点までの距離・ガソリン代・高速道路の交通費などを算出して非市場的価値を求める。本研究の対象地点は、表1の全16ヶ所である。地域別流入人数は国土交通省の「207生活圏間流動表」をもとに、いわき市にはどの地域からどれだけの人が乗用車で訪れるのかを調査し、いわき市を訪れる人の居住地を、県外5地域・県内3地域に分けた。

地区名	観光地点名
	新舞子海岸
	水石山
平	塩屋崎
	新舞子ビーチ海水浴場
	薄磯・豊間・合磯海水浴場
	三崎公園
小名浜	アクアマリンバーク
	永崎・サンマリーナ海水浴場
	勿来の関
201本	勿来・小浜海水浴場
常磐	いわき湯本温泉
	道の駅よつくら港
四倉	久之浜・波立海水浴場
	四倉海水浴場
小川	夏井川渓谷
久之浜・大久	いわき北部地区

表1: いわき市の非市場的な財・サービス

3. 分析結果

以上のデータをもとにトラベルコスト法を用いて分析したところ、いわき市全体の非市場的価値の推移は図1のようになった。

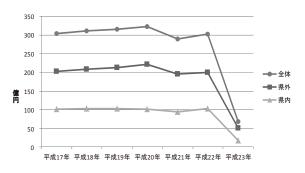


図1: いわき市全体の非市場的価値

いわき市全体の非市場的価値はこれまで300億円前後を推移していたが、平成23年度は、東日本大震災および福島第一原子力発電所の事故の影響を受け、現時点での非市場的価値は約70億円と例年に比べ大幅に減少し、前年比約230億円の減少となった。

4. 結論

本研究では、いわき市を対象とした観光資源の価値を、トラベルコスト法を用いて算出することができた。中でも、海水浴場は原発事故の影響を考慮して開設しなかったため、非市場的価値は0円と大きく減少した。また、今夏、勿来海水浴場が市内で唯一開かれたものの、風評被害の影響が大きく8,500人(平成22年は18万2,000人)しか訪れなかった。

いわき市内には自然の観光資源が多くあるので、今後は、市や県が積極的に除染を行って、県内外 (特に隣接県) への安全性をアピールするとともに、来年の海水浴場の海開きも進めていかなければ、来年以降のいわき市内の観光客数・非市場的価値の回復は見込めないと思われる。

地域住民組織におけるリーダーシップとマネジメントに関する研究 —町内会・自治会調査の再分析から—

福島工業高等専門学校専攻科 村上 裕紀 福島工業高等専門学校 松本 行真 福島工業高等専門学校 高萩 航

1. はじめに

町会の組織率は日本全体でみると、70%近くの組織率を維持している。筆者らが関わった東北にある6つの県庁所在地といわき市、そして弘前市を対象にした町会調査においてどの都市にも共通して現れる問題は、「町会の役員のなり手不足」、「会員の高齢化」、「町会行事への住民の参加の少なさ」の3つである。誰もが解決に向けて思い悩んでいることであるが、結果としての数値を見る限り、それらは解決に至っていないといえる。

そこで本研究では、町会長のリーダーシップといった人的資源にもう少し焦点を絞るとともに、 リーダーシップを発揮するための要件の一つを知識=ナレッジに求め、知識のマネジメントの現 況と両者の関係が地域の活動資源にどう関わっているかを把握するとともに、共分散構造分析を 用いてそれらの因果関係にまで立ち入ることを目的とする。

2. 「知識」の視点によるリーダーシップとマネジメント

町会である問題が発生したときに、よくみられるのが「属人的」な解決方法であり、知識が偏在していることに他ならず、長老がいなくなると機能不全に陥る可能性が大きくなる。こうした「属人的」「知識の偏在」という状況が若い現役世代に町会を近寄り難き存在にしてしまっているのではなかろうか。つまるところ、知識とその管理・運用(マネジメント)をその町会で関連する「すべての」世代で共有するのが、町会リソースを形成する一つの方法であろう。

3. 町会の維持・発展機制

―リーダーシップ、マネジメント、活動資源を起点に

ここで再分析に取りあげる『弘前市町会調査』について簡単に説明する。これは 2011 年 12 月 に弘前市内の全単位町会 335 カ所の町会長を対象に郵送による質問紙調査で実施した。有効回収率は 63.9%であった。ここでのポイントは、「人的資源」と「活動資源」の 2 軸とそれによって構成されるセグメントによる分析に加えて、町会運営で主要な問題の一つとなる「リーダーシップ」と「マネジメント」と、町会長や役員または一般会員に形成される関係を検討したことにある。前者では、率先して行うといった「リーダーシップ」、目標達成への意識が高い等の「マネジメント」、状況変化に対応し解決する「問題解決力」、公平な態度で役員等に接する「信頼性」、指示が一貫している等の「戦略性」等の項目を設定している。

一方で後者は町会運営上の問題に関する情報共有が行われているかを「マニュアル化」と「解 決策共有の範囲」の2つの視点で捉えようとしている。

これらの設定により、町会長のリーダーシップ、問題解決に向けたマニュアル化、町会における情報共有、町会活動、町会行事、町会の防犯活動、防災活動それぞれに関する因子分析を行った。しかしながら因子分析は互いの関連性をみるものであり、因果関係までは捉えることはできない。これらの関連性の因果関係をみるために共分散構造分析を行った。ここでの因子分析、共分散構造分析は SPSS を用いている。このモデルの結果だけを見ると、弘前市町会では「ボトムアップ」型の仕組みでリーダーを育成していくといえよう。

4. むすびにかえて

本論では地域住民組織におけるリーダーシップとマネジメントの実態とその関係について、2011 年 12 月に実施 した弘前市町会調査のデータにより共分散構造分析を用いて明らかにした。

本論は町会の活動のみならず、情報共有といったナレッジマネジメントや町会長や役員のリーダーシップにまで考察の対象を拡げ、それらの連関を定量的なモデルにより示したところに意義があると考えるものの、一方で調査票の制約や分析上の問題といった課題もある。

コンビニエンスストア業界の財務分析

福島工業高等専門学校専攻科 松田美穂 福島工業高等専門学校 渡部美紀子

1. はじめに

様々なサービスを提供しているコンビニエンスストア(以下、コンビニと略す)は、私たちの生活には欠かせない存在となっている。コンビニは、1970年代の前半に登場して以来急成長を遂げてきたが、現在市場は飽和状態であると言われている。コンビニ業界は今後も成長を続けていくことが出来るのだろうか。また、コンビニ業界は上位チェーンの寡占化が進行している状態にあるとされている。上位の企業にはどのような特徴があるのだろうか。本研究では、財務分析を行うことでコンビニ業界の特性を捉え、業界の動向を予測することと、企業間を比較することで業界上位の企業の特徴を考察することを目的とする。

2. コンビニ業界の現状

売上が伸び悩んでいる業界が多い中でも、コンビニエンスストアという業態は大きく売上を伸ばしてきた。しかし、最近では成長が鈍化しており、既存店の売上低下を、新規出店により補っている状態である。JFA コンビニエンスストア統計によると、平成 23 年度の全チェーン売上高は約 8.8 兆円である。図1より、売上高の9割近くを上位4社((株)セブン&アイ・ホールディングス、(株)ローソン、(株)ファミリーマート、(株)サークルKサンクス)が占めていることから、コンビニ業界は寡占状態であることが分かる。

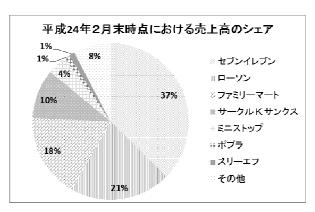


図1 平成24年2月末における売上高のシェア (JFA及び各社の期末国内店舗数を基に筆者作成)

飽和状態にあると言われているコンビニの店舗数は、オフィス地区と工業地区で増えてきている。その他にも、駅や病院、大学やホテルなどにも出店しており、各社は立地に合わせた店舗開

発を行うことで店舗数拡大を図っている。

3. 分析方法

本研究では、安全性、収益性、成長性の視点から分析を行った。分析対象企業は、JFA に加盟している企業で、コンビニを展開しており、財務諸表を入手できるということを基準として選択した。その結果、(株)セブン&アイ・ホールディングス、(株)ローソン、(株)ファミリーマート、(株)サークルKサンクス、ミニストップ(株)、(株)ポプラ、(株)スリーエフの7社を分析の対象とする。

4. 分析結果

4·1 安全性分析

セブンイレブンは、支払い能力が高く投資が安定した形で実施されているが、スリーエフは他 と比べると支払い能力が低く、固定資産に対して安定した資金が少ないことが分かる。

4.2 収益性分析

総資本経常利益率については、目標値とされる 8%を上回っている企業が多いが、自己資本当期純利益率については、目標値とされる 10%に満たない企業が多い。

図2より、売上総利益率は全体的に25%前後であるが、営業総利益率を見ると、セブンイレブンが90%近くと他社より高い値を示している。このことから、セブンイレブンは営業収入(加盟店に関わる収入)が多いことが考えられる。

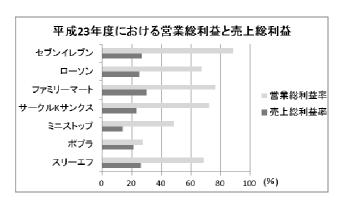


図 2 平成 23 年度における各社の営業総利益と売上総利益 (各社有価証券報告書のデータを基に筆者作成)

4.3 成長性分析

平成23年度において、売上高はローソン以外のすべての企業で減少している。営業総収入は、業界上位3社のみが伸ばしている。ローソンは、平成21年度にこの2つの増加率が大幅に上昇している。その理由は、九九プラスの連結による効果であるとされている。

5. 今後の展望

今後は、効率性の視点からの分析や、キャッシュフローを用いた分析も行う。そして、分析の結果から各企業の現状を把握し、企業間で比較することで業界上位の企業の特徴を分析する。また、小売業や他業種の平均と比較することで、業界全体の特徴を明らかにし、今後の動向を予測する。

主な参考文献・URL

- (1) 一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会、http://www.jfa-fc.or.jp/
- (2) 経済産業省,「2009 平成21年版 我が国の商業」,

http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/syougyo/dms/2009/index.html

- (3) 斉藤和邦,「図解入門業界研究 最新コンビニ業界の動向とカラクリがよ~くわかる本(第2版)」(2008)
- (4) 森田松太郎, 「ビジネス・ゼミナール 経営分析入門[第4版]」(2009)

放送業界の財務分析

福島工業高等専門学校専攻科 三浦めい 福島工業高等専門学校 渡部美紀子

1. はじめに

テレビはさまざまな情報を得る手段として老若男女に最も身近な存在である。一方でインターネットの普及に大きな影響を受けて放送業界は危機に直面していると考えられる。そこで放送業界の現状と今後の動向に興味を持った。本研究の目的は、地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビ(以下 CATV と略す)によって利益の獲得方法に差異はみられるのか考察することである。また、メディアの多様化による放送業界の変化を読み取り、放送業界の今後の動向を予測する。

2. 放送業界の定義

放送とは、公衆によって直接受信されることを目的とする電気通信の送信をいう(放送法第一章 第二条より引用)。

本研究では、音声・映像・文字などの情報を、電気通信技術を用いて一方的かつ同時に発信し、不特定多数の人々によって直接受信されることを目的としている企業集団を放送業界と定義する。

3. 放送業界の現状

1953年にテレビの本放送が開始して以来、約60年の歴史を経て現在では地上波デジタル放送が普及している。テレビ放送は多くの人々にとって身近な存在であり、最新の情報を得られる手段のひとつであった。しかし、現在の放送業界はインターネットの台頭やメディアの多様化によってその位置づけが変化しつつあると考えられる。

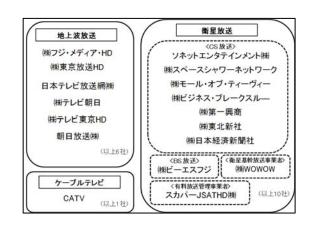
このような状況の中でも、放送業界は高い収益を得ており、地上波放送は特に高い収益を獲得している。衛星放送においては契約者数の増加傾向がみられている。放送業界は、情報を入手する手段が多様化した近年においても尚、多くの人々にとって情報を得るための重要な手段だといえる。

4. 分析方法

本研究では、主に有価証券報告書を使用して放送業界の財務分析を行う。財務分析を行うことから放送業界についてさまざまな視点から考察していく。

分析対象企業は表1に挙げた17社とする。

表 1 分析対象企業一覧



本研究では、セグメント情報から企業の収益構造を考察し、地上波放送、衛星放送(BS 放送、CS 放送)、CATV における収益構造の共通項は何か考察する。

5. 分析結果

地上波放送(㈱フジ・メディア・HD)、衛星放送(CS 放送(㈱東北新社)、BS 放送(㈱WOWOW))における売上高セグメント情報は以下の通りである。

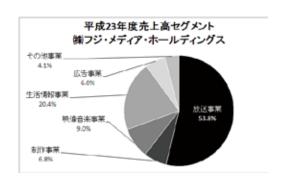


図1 フジ・メディア・HD売上高セグメント



図2 東北新社売上高セグメント

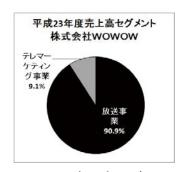


図3 WOWOW 売上高セグメント

地上波放送は、図1のように多岐にわたった放送関連事業を行うことで利益を獲得していると考えられる。衛星放送は、図2のように放送事業以外の事業を中心に行っている企業がその知識や技術を使って衛星放送も行っている傾向がみられた。図3のWOWOWやCATVは1つの事業に特化した経営を行うことによって利益を獲得している。地上波放送は広告料収入、衛星放送やCATVは加入料や視聴料から収入を得ているという違いがあるが、セグメント情報から分かる収益構造の違いとしては、それぞれ自社の強みを活かした業務を行うことで収益を得ていると考えられ、今後の放送業界はさらにそれらの特徴が顕著になることが考えられる。

6. 今後の展望

現段階では放送業界の収益構造の違いを把握した。今後は収益性分析と成長性分析の指標を使用した財務分析や、キャッシュフロー等に着目した分析を行うことにより、放送業界の業界内の比較や分析を行う。また、放送業界と情報関連業界との比較によって放送業界の今後の動向を考察する。

主な参考文献・URL

- (1) EDINET http://info.edinet-fsa.go.jp/
- (2) 有限責任あずさ監査法人『業種別アカウンティング・シリーズ⑨ コンテンツビジネスの会計実務』(2010)

総会・役員会の報告 平成24年度 観光まちづくり学会 第1回役員会及び総会について 平成24年10月27日(土)開催 役員会

○協議内容

- ・総会資料について説明を行い了承された。
- ・人事案件について以下の案件が承認された。
- 1 新会長は長谷川明 (八戸工業大学) とする。
- 2 副会長は原田房信(北海商科大学)とする。
- 3 学会誌編集委員長は、中村正 (㈱ネクサス) 副 委員長は安部信行 (八戸工業大学) とする。
- 4 北海道支部長は、細野昌和(北海商科大学)とする。
- 5 事務局強化のために、2名増員とする。 小野寺淳会員・石川英俊会員
- ・事務所所在地の変更について
- 1 本部事務所は、八戸工業大学長谷川研究室に置く。
- 2 北海道支部事務所は、北海商科大学細野研究室に置く。
- ・上記のように会則を変更する。
- ・学術論文審査委員会から、学会誌第9巻2次審査 委員会の議事録により、審議状況の内容について 説明があった。

総会

総会は長谷川副会長から開会挨拶があり、議事について審議を行い承認された。

- 1) 号議案・平成23年度事業報告および決算報告 (案) について
- 2) 号議案・平成24年度事業計画および予算(案) について
- 3) 号議案・人事案件について (案)

会員情報

会員数は、正会員112名から114名に、また、 法人会員は4社、学生(院生)2名、合計120名 となっている。

・次回、平成 25 年度の第 12 回研究発表会・総会の 開催は盛岡市とし、実行委員長は安藤昭岩手大学 名誉教授に引き受けていただくことになった。

観光まちづくり学会誌 第11号 (平成26年2月発行予定) 原稿募集

平成 26 年 2 月発行予定の「観光まちづくり学会 誌第 10 号」に登載します、論文、研究ノート、 報告、紀行文等の原稿を募集します。

本号の投稿規定を熟読いただき投稿整理票に必要 事項を記入の上、投稿原稿と一緒に提出下さい。論 文審査の方法は下記の通りです。

論文審査の方法

第1次審査は、学術論文審査委員1人と匿名の査読者2名の3名によって行い、第2次審査は学術論文審査会で行います。

なお、「論文」の判定基準は以下の通りです。

「報告」についてもこの判定基準を準用します。

- 1) 内容:新規性、独創性、妥当性、信頼性、論旨 の明確さ
- 2)表現:表題、内容説明、文献引用、用語等の適 切さ、図表表題の適切さ

原稿及び申込みの締め切りは平成 25 年 12 月 31 日 消印有効です。多数の会員からの投稿をお待ちします。なお、送付先は 031-8501 八戸市妙字大開 88-1 八戸工業大学:安部信行宛メールは abe@hi-tech.ac. jp にお送りください。

観光まちづくり学会 盛岡大会 第 12 回 研究発表会開催のご案内

観光まちづくり学会盛岡大会 (第 12 回研究発表 会)を観光まちづくり学会・(財)東北開発研究所 共催、で下記の日程で実施します。詳細は別途お知 らせします。

- 1) 日時 平成 25 年 10 月 26 日 (土) ~ 27 日 (日)
- 2)会場 盛岡市:岩手大学工学部銀河ホール、東森埔第一会議会 第二会議会

事務棟第一会議室、第二会議室 〒020-8551 盛岡市上田 4-3-5

3) 日程概要

10月26日:事務棟第一会議室 役員会・各種委員会報告、会員総会 基調講演(工学部銀河ホール)懇親会

10月27日: 工学部銀河ホール

研究発表会:論文賞・優秀発表賞表彰

4) 宿泊:後日ご案内いたします

平成 25 年度学会費納入のおねがい

平成 25 年度学会費の納入を下記口座に振り込みをお願いします。まだ、過年度分会費未納の会員の方には2カ年分の入金をお願いします。

なお、学会費は正会員 5,000 円、学生会員(院博士課程)2,000 円、法人会員 20,000 円となっております。

学会費郵便振替

口座番号:02260-2-59030

口座名称:観光まちづくり学会

観光まちづくり学会 投稿規定

1. 内容

観光まちづくりに関する学術・技術についての論文・報告とし、原則として未発表のものに限る。ただし、学術研究発表会で発表したものはこの限りではない。

2. 投稿資格

投稿は会員に限る。ただし共同執筆者に非会 員を含むことができるが、筆頭執筆者は会員と する。

3. 原稿の種類と区分

論文

: 学術的価値のあるもので, 一遍ごとに論文 としての体裁を整えているもの。

長い論文を分割し、連続形式として応募した論文は、独立した論文とはみなせない。

報告・ノート

:調査・計画・設計・実務などに関する資料 紹介および報告。

紀行文

:著者が実際に訪問した町や地方の紹介、報告

4. 原稿の執筆要領

(1) 論文・報告の本文

投稿一遍につき刷上り 10 貢を基準とし, 下記表中 A・B いずれによってもよい。A・B とも次の要約 (Abstract)・内容紹介・キーワード (5 つ以内) を必ず添付する。

(2) ノート・紀行文の本文 投稿一遍につき刷上り6頁とする。 報告・ノート・紀行文については要約 (Abstract) を必要としない。

原稿	本文	要旨	Abstract
	和文 10 頁 欧文 10 頁		和文約7行 英文約7行

- (3) 論文のキーワードについては,英文表記も記述することとする。
- (4) 本文の超過頁と費用負担 下記の費用は著者の負担とする。
- ア. 超過頁, ただし4頁を限界とする。
- イ. 論文・報告における腹刷り作成費。
- ウ. 図表等のカラー印刷に要した時の費用。

(5) 執筆要領

完全版下和文原稿作成例に記述。

5. 原稿提出

提出原稿はコピー3部及びPDFファイルとする。原稿表題の脇に「論文」、「研究ノート」、「報告」の区別を付す。著者は編集委員会の意見に応じて修正した後、オリジナルを送付する。 送付先

〒031-8501 八戸市妙字大開 88-1

八戸工業大学 長谷川研究室内

FAX:0178-25-8075

E-mail:office@kankou-m.jp

6. 原稿受理

原稿が編集委員会に到着した日を受理日と し,当月の編集委員会開催日以降に審査を開始 する。なお,審査の結果,原稿が再審査となっ た場合には改訂原稿受理日を併記する。

7. 審 査

編集委員会が査読委員 2 名の査読結果をもとに採否を決定する。なお、「論文」・「研究・ノート」についての判定基準は以下の通りである。「報告」についてもこの判定基準を準用する。

- (1) 内容:新規性、論旨の明確さ・妥当性、 方法の独創性、結旺の独創性、 資料の信頼性、調査方法の妥当性。
- (2) 表現:表題、内容説明、文献引用、用語等の適切さ、図表表題の適切さ。

8. 再審查

審査の結果「再審査」の場合は,修正された 原稿について改めて審査を行う。

観光まちづくり学会投稿論文の完全版下 和文原稿作成例

論文集編集委員会¹・事務局²・Touristic Community DESIGN³

1正会員 工博 観光大学教授 まちづくり学部 (〒020-8551 岩手県盛岡市上田4丁目3-5)

E-mail:kankou@stcd.ac.jp

2正会員 工修 観光株式会社 技術開発部 (〒020-0004 岩手県盛岡市上田六丁目 13-5)

³ Member of TCDIJ, Ph.D., TCDIJ Corp.

このファイルは観光まちづくり投稿論文の完全版下原稿(和文)を作成するために必要な、レイアウトやフォントに関する基本的な情報を記述しています。と同時に、版下原稿そのものの体裁(A4)をとっているため、このファイルの中の文章や図表をこれから書こうとしている実際のものに置き換えれば、所定のフォントや配置の原稿を容易に作成することができます。

このアブストラクトを含め、タイトル部分の幅は本文よりも左右 1 cm ずつ狭くします。アブストラクトのフォントは明朝体 9 pt を用いてください。アブストラクトの長さは 7 行以内です。アブストラクトの後に 1 行空けて、キーワードを $3\sim5$ 語、Times-Italic 10pt のフォントで書いて下さい。

Key Words: times, italic, 10pt, 3-5 words, one blank line below abstract, indent if key words exceed one line

1. タイトルページ

タイトルページは2つの部分で構成されます.

- (a) タイトル部分: 横1段組(題目, 著者, 所属, 連絡先住所, E-mail アドレス, アブストラクト, キーワード) なお, E-mail アドレスは, 必ず単独行としてください.
 - (b) 本文部分:横2段組

このほか、フッタ(ページ番号)が付きます。なおソフトウェアによっては、タイトル部分とその下の本文部分が別のファイルに分かれていることがあります。

(1) タイトル部分のレイアウトとフォント

全てのページのマージンはこのサンプルにありますように上辺 19 mm, 下辺 24 mm, 左右ともに 20 mm に設定してください. タイトル部分の左右のマージンは、本文の左右のマージンよりもそれぞれ 10 mm ずつ大きくとって下さい. すなわち, A4 用紙の幅に対して左右それぞれ 30 mm ずつのマージンをとります. そして以下次の順にタイトル部分の構成要素を書いて下さい.

タイトル:ゴチック体 20 pt フォント, センタリング (約 15 mm のスペース)

著者名:明朝体 12 pt フォント, センタリング (約 5 mm のスペース) 著者所属:明朝体 9 pt フォント, センタリング (約 10 mm のスペース)

アブストラクト: 明朝体 9 pt フォント, 7行以内 E-mail アドレス: 明朝体 9 pt フォント, センタリング (約 5 mm のスペース)

キーワード: Times, italic, 10pt, $3 \sim 5$ 語, 2 行以内 著者と所属とは肩付き数字で対応づけ, 上記のように並べて下さい. *Key Words* という文字はボールドイタリック体にします.

(2) 本文部分のレイアウトとフォント

本文とキーワードの間に約 10 mm のスペースを 空けてください.

本文は2段組で,左右のマージンは 20 mm ずつ, 段と段との間のスペースは約 6 mm とします.

本文には明朝体 10 pt フォントを用いて下さい.

(3) フッタ

すべてのページの下辺中央にフッタ機能を使ってページが入りますが、ページ番号は暫定的に論文表紙を第1ページとしてつけてください.

2. 一般ページ

第2ページ以降はタイトルページの本文部分と同 じレイアウトとフォントで本文を作成します.

(1) 脚注および注

脚注や注はできるだけ避けて下さい. 本文中で説明するか, もしくは本文の流れと関係ない場合には付録として本文末尾に置いて下さい.

3. 見出し(見出しが1行以上に長くなるときはこの例のようにインデントし折り返す)

(1) 見出しのレベル

見出しのレベルは章、節、項の3段階までとします. 章の見出しはゴチック体とし、2. などの数字に続けて書きます.また、見出しの上下にスペースを空けます.このファイルのサンプルから分かるように、上を2行、下を1行程度空けて下さい.ただしページや段が切り替わる部分は章の見出しが最上部に来るよう調整してください.

(2) 節の見出し

節の見出しもゴチック体で, (4) などの括弧付き 数字を付けます. 見出しの上だけに1行程度のスペースを空けて下さい.

a) 項の見出し

項の見出しは、括弧付きアルファベットを付け、 上下には特にスペースを空けません. 項より下位の 見出しは用いないで下さい.

4. 数式および数学記号

数式や数学記号は次の式(1a)

$$G = \sum_{n=0}^{\infty} b_n(t)$$
 (1a)

$$F = \int_{\Gamma} \sin z \, dz \tag{1b}$$

のように本文と独立している場合でも、 C_D, α (z)

文章の中に出てくる場合でも同じ数式用のフォント を用いて作成します.数式や数学記号の品質が悪い と版下原稿として受け付けません.

数式はセンタリングし、式番号は括弧書きで右詰めにします.

5. 図表

(1) 図表の位置

図表はそれらを最初に引用する文章と同じページに置くことを原則とします。原稿末尾にまとめたりしてはいけません。また、図表はそれぞれのページの上部または下部に集めてレイアウトして下さい。図表の横幅は、「2段ぶち抜き」あるいはこのサンプルの表 -1 や図 -2 のように「1段の幅いっぱい」

表 - 1 表のキャプションは表の上に置く. このように長いときはインデントして折り返す.

資料番号	高さ h(m)	幅 w(m)
1	1.45	0.25
2	1.75	0.40
3	1.90	0.65

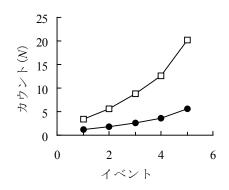


図-2 図のキャプションは図の下に置く

のいずれかとします。図表の幅を1段幅以下にして図表の横に本文テキストを配置することはやめて下さい。図表と文章本体との間には $1 \sim 2$ 行程度の空白を空けて区別を明確にします。

(2) 図表中の文字およびキャプション

図表中の文字や数式の大きさが小さくなり過ぎないように注意してください. 特にキャプションの大きさ (9pt) より小さくならないようにして下さい. 図表中の文字あるいは表題は本文と同じ言語を使うこととします.

長いキャプションは表 -1 のようにインデントして折り返します.

6. 参考文献の引用とリスト

参考文献は出現順に番号を振り、その引用箇所でこのように 1) 上付き右括弧付き数字で指示します. 参考文献はその全てを原稿の末尾にまとめてリストとして示し、脚注にはしないでください.

なお参考文献リストのあとに1行空けて,事務局から通知された原稿受理日を右詰めで書いてください.ただし,最初の投稿原稿を用意していただく時点では,ここに?マークを挿入してください.

7. 最終ページのレイアウトと英文要旨

最終ページには英文のタイトル,著者名および要 旨を横1段組で書きます.このサンプルにあるよう に、本文や参考文献リストまでの2段組部分の左右の柱の高さをほぼ同じにし、10 mm 程度の空白を入れて英文要旨を配置します。英文要旨部分の幅はタイトル部分と同じく本文よりも左右を 10 mm ずつ狭くします。

謝辞:「謝辞」は「結論」の後に置いて下さい. 見出しとコロンをゴチック体で書き, その直後から文章を書き出して下さい.

付録 「付録」の位置

「付録」がある場合は「謝辞」と「参考文献」の間に置くこと.

- J. Mech. Phys. Solids, Vol.13, pp. 213-222, 1965.
- 2) Blevins, R.D.: *Flow-Induced Vibration*, 2nd ed., Van Nostrand Reinhold, New York, 1990.
- 3) Karniadakis, G.E., Orszag, S.A. and Yakhot, V.: Renormalization group theory simulation of transitional and turbulent flow over a backward-facing step, *Large Eddy Simulation of Complex Engineering and Geophysical Flows*, Galperin, B. and Orszag, S.A. eds., Cambridge University Press, Cambridge, pp. 159-177, 1993.
- 4) ダン, Y.C.: 観光の力学/観光, 山田行介, 水出佳奈 共訳、風光館、1970.
- 5) 中居伸明, 中嶋雄介:完全版下原稿スタイルフォーマットの作成について, 観光まちづくり学会論文集, No.333/II-99, pp. 20-33, 1994.

(2011. 1. 1 受付)

参考文献

1) Hill, R.: A self-consistent mechanics of composite materials,

PRINT SAMPLE FOR JAPANESE MANUSCRIPT FOR JOURNALS OF STCD

Editorial COMMITTEE, Touristic Community DESIGN Insitute of Japan

The present file has been made as a print sample of the camera-ready manuscripts for Journal of STCD. Its text describes instructions to prepare the manuscripts: the layout; the font styles and sizes; and others. If you replace the text or the figures of the present file by your own ones, using CUT & PASTE procedures, you can easily make your own manuscripts.

This English ABSTRACT has narrower width than the main text by 10 mm from the left and the right margins of the main text, respectively. Font used here is Times-Roman 10pt. The length should be within 7 lines. It is preceded by the title and the authors; both are centered and the font size is 12pt.

観光まちづくり学会 論文・報告 投稿整理票

いずれかる	を〇で囲	んで下る	えい。	• 論文	. =	報告	[*	欄は編	集委員会	会記入」	
*受理年	月日:	年_	月 月	日,	/再受	理年月	日:_	年_	月_	日	
[著者の人数	 数が多く	、書きき	れない	小場合に	は、ほかり	何名と	し、 <u>別</u>	紙を添作	付してヿ	「さい。]	
著者	(和文)										
14 17	(欧文)										
 所 属	(和文)										
7/1 /1 4	(欧文)										
	(和文)										
表題	/ 										
	(欧文)										
						1.7	 /-		o +-\	<i>t.</i> —	
本文	_					-					
					7月17日	英文要約 (350語):有・無、英文要約和訳:有・無 [本文が和文の場合] 和文要約 (刷り上がり2項):有・無 [本文が欧文の場合]					
	(111)		グ /・	一 				上华又人		グ 口」	
		先の場合			自宅の	場合は	はその				
連絡先					自宅の	場合は	はその				
連絡先住所・	. (勤務				自宅の	場合に	まその				
連絡先 住所・ 氏名	. (勤務						はその				
連絡先 住所・ 氏名 電 話	〒				自宅のファッ		はその				
連絡先 住所・ 氏名	〒						はその				
連絡先 住所・ 氏名 電 話	〒	先の場合 	かは所) 		ファッ	クス					
連絡先 住所・ 氏名 電 話	〒	先の場合 	かは所) 	属まで、 	ファッ	クス					
連絡先 住所・ 氏名 電 話	〒	先の場合 	かは所) 	属まで、 	ファッ	クス					
連絡先 住所・ 氏名 電 話	〒	先の場合 	かは所) 	属まで、 	ファッ	クス					
連絡先 住所・ 氏名 電 話	〒	先の場合 	かは所) 	属まで、 	ファッ	クス					
連絡先 住所・ 氏名 電 話	〒	先の場合 	かは所) 	属まで、 	ファッ	クス					
連絡先 住所・ 氏名 電 話	〒	先の場合 	かは所) 	属まで、 	ファッ	クス					

観光まちづくり学会会則

(平成25年10月改正予定案)

第 1 章 名称と事務所

(名 称)

第 1 条 本会は観光まちづくり学会(The Society of Tourism and Community Design) と称する。

(事務所)

第 2 条 本会の事務所は会長所属の八戸工業大学長谷川研究室に置く。

2 本会の北海道支部事務所は北海商科大学商学部細野研究室に置く。

第 2 章 目的と事業

(目 的)

第 3 条 本会は観光まちづくりに関する学術の進歩および普及を目的とする。

(事 業)

第 4 条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行なう。

- (1) 会員の研究促進を目的とする研究発表会の開催
- (2) 講演会および講習会の開催
- (3) 調査研究および視察会の実施
- (4) その他の本会の目的を達成するために必要な事業

第 3 章 組織と運営

(会 員)

第 5 条 本会の会員は、設立の趣旨に賛同し、観光まちづくりに関する学術の進歩 および普及を目的に実施される各種事業に参加を希望する者をもって構成する。 会員は、個人会員および法人会員からなる正会員、学生会員、 名誉会員とする。

> 学生会員は、学部生のほか、大学院博士前期課程の院生まで含めることとし、大学院博士後期課程の院生は個人会員とする。 名誉会員は、役員会において推薦し会員総会において承認する。

(会員の権利)

第 6 条 会員は本会の運営・企画する全ての事業に参加を希望することが出来、本会の編集出版物の配布を受けることができる。

(会費納入)

第 7 条 会員は次に定める年会費を納めるものとする。

個人会員は 5,000 円 法人会員は 20,000 円 院生会員は 2,000 円

学生会員は 会費を徴収しない。 顧問・名誉会員は 会費を徴収しない。

(役 員)

第 8 条 本会の事業を運営するために次の役員を置く。

- (1) 名誉会長 1 名
- (2) 会 長 1 名
- (3) 副 会 長 1 名
- (4) 顧 問 1 名
- (5) 特別顧問 1 名
- (6) 事務局長 1 名
- (7) 事務局次長 1 名
- (8) 理 事 25名以内

(理事は名誉会長、会長、副会長、顧問、事務局長、

事務局次長、特別顧問を含む)

(9) 監事若干名

(理事、監事)

第 9 条 理事および監事は正会員中から選出する。理事は本会の事業運営の執行にあたる。監事は本会の会計を監査する。監事は理事を兼ねることは出来ない。

(名誉会長、会長、副会長、事務局長、事務局次長)

第 10 条 名誉会長は会長経験者で本会の設立および発展に多大な貢献をした理事から 選出し、会長、副会長、事務局長および事務局次長は理事の互選により選出する。 名誉会長は学会賞等の授与をする。

会長は本会を代表し、会務を総括する。

副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときこれを代理する。

事務局長は、第4条に揚げられた会務を総括する。

事務局次長は、第4条に揚げられた会務を分担し執行する。

(役員名の報告および任期)

第 11 条 選出された役員名は会員総会において報告され、承認を受けなければならない。 役員の任期は2年とする。原則として承認を得た会員総会終了時より次期改 選年度の会員総会終了時までとする。但し重任を妨げない。 (顧 問)

第 12 条 本会に顧問を役員として置くことができる。顧問からは会費を徴収しないものとする。

顧問は役員会において推薦し、会員総会において承認する。

(会員総会の構成と開催方法)

第 13 条 正会員をもって会員総会を構成する。本会の組織と運営に関する最終決定は会員総会の決議による。

会員総会は通常総会と臨時総会とし、会長が主催する。

通常総会は毎年1回開催する。原則として研究発表会開催時に行なう。

臨時総会は理事の過半数または正会員の3分の1以上の連名による要求書の提示によって会長が召集する。

(会員総会の議決)

第 14 条 会員総会は会則の改正の場合を除き、正会員の5分の1以上の出席によって成立し、議事は出席者の過半数の同意をもって決定される。

出席は、委任状提出による出席を認めることとし、特に、法人会員にあっては代理出席も認めるものとする。

(会員総会の議事)

- 第 15 条 通常会員総会には次の事項を含ませなければならない。
 - (1) 年次事業報告ならびに会務の審議
 - (2) 年次会計報告ならびに監査報告
 - (3) 研究発表会の開催に関する事項
 - (4) 役員改選年度においては役員の選出に関する事項

(議案提出の手続き)

第 16 条 正会員は、会員総会に議事を提出することができる。

議事の提案をしようとするものは、原則として、事前に提案議事内容および提案理由を役員会に提出しなければならない。

(役 員 会)

第 17 条 本会の運営全般について協議するため、本会に役員会を置く。

役員会は、本会則第8条に定める役員で構成する。

役員会は、会長が招集し、役員の半数以上の出席で成立するものとするが、 役員に事故あるとき、または欠けたときは代理出席を認め、更に、委任状提 出による出席も認めるものとする。

役員会は、毎年2回開催することとし、うち1回は研究発表会開催時に行う。 会長は、役員会の議長となる。会長に事故あるときは副会長が議長となる。 (役員会の任務)

第 18 条 役員会は第3条の目的に基づき、第4条に揚げた会務を分担し、遂行する。

(国際貢献部門)

第 19 条 本会則第4条4項に基づき、国際貢献部門を置く。 部門の中に会員の提案による部会を置くことができる。 部会の設置は総会の承認とする。

(支 部)

第 20 条 本会則第4条4項に基づき、支部を置く。 支部の設置は総会の承認とする。

第 4 章 会 計

(経 費)

第 21 条 本会の経費は、会費、寄付金及び補助金等によって支弁する。

(会費納入)

第 22 条 会員は、当該年度の会費を10月末日までに納入するものとする。

(会計年度)

第 23 条 本会の会計年度は、毎年4月1日より始まり3月31日で終わる。

(会計担当)

第 24 条 事務局次長が会計担当の任にあたる。

(会則の変更)

第 25 条 本会の会則の変更は、正会員の3分の1以上が出席した会員総会において 出席者の3分の2以上の同意によって成立するものとする。

出席は、委任状提出による出席を認めることとし、特に、法人会員にあっては代理出席も認めるものとする。

第 5 章 雜 則

(内 規)

第 26 条 本会の運営上必要がある場合には、会長が内規を定めることができる。

附則

(施行期日)

この会則は、平成13年12月8日から施行する。

この会則は、平成15年10月4日から施行する。

この会則は、平成18年10月21日から施行する。

この会則は、平成19年09月29日から施行する。

この会則は、平成20年11月23日から施行する。

この会則は、平成21年04月18日から施行する。

この会則は、平成21年10月17日から施行する。

この会則は、平成22年10月23日から施行する。

この会則は、平成24年10月27日から施行する。

(施行の特例)

本会会則第21条の規定にかかわらず、平成13年12月8日から平成14年3月31日までの期間は、平成14年度に含めることとする。

観光まちづくり学会学会賞表彰規程

平成 19 年 03 月 31 日制定 平成 22 年 10 月 17 日一部改正

- 第1条 観光まちづくり学会賞の表彰はこの規定による。
- 第2条 表彰は学術論文賞および優秀発表賞を授与して行う。
- 第3条 学術論文賞は、観光まちづくり学会誌に掲載された論文の中から観光まちづくり に関する学術の発展に大いに資すると認められる研究に授与する。
- 第4条 優秀発表賞は、観光まちづくり学会研究発表会において発表された研究の中から 観光まちづくりに関する学術の発展に資すると期待される発表に授与する。
- 第5条 学会賞選考委員は、会長が委嘱する。
- 第6条 学術論文賞の選考は学会賞選考委員3名によって行う。優秀発表賞の選考は、座 長の推薦を受けたものの中から、学会賞選考委員3名によって行う。
- 第7条 表彰は、通常総会において賞状・記念品を授与して行う。
- 第8条 この規定の変更決定は、役員会の議決によって行う。

内 規

- 1. 学会賞選考委員は役員会で選定する。
- 2. 委員の任期は2年とし、再認を妨げない。
- 3. 学術論文賞の記念品は3万円相当の懐中時計とし、第1執筆者へ贈る。
- 4. 優秀発表賞の記念品は5千円の図書券とし、発表者へ贈る。
- 5. 学会賞の賞状は連名者へも贈る。

観光まちづくり学会役員名簿

誉 会 長 (1)名 安藤 昭(北海商科大学) (2)会 長 長谷川 明(八戸工業大学) (3)副 会 長 信(北海商科大学) 原 \blacksquare 房 (4)問 朗(山形大学名誉教授) 顧 前 ||勝 特 別顧問 呂 杰(上海友普経貿発展有限公司) (5) 理事・事務局長 佐々木 勝 (元岩手県庁) 康 理事・事務局次長 沖 野 悦(北栄調査設計㈱) 健 (6) 理 事 一 (岩手大学) 赤 谷 隆 芥 則(福島工業高等専門学校) Π 行(八戸工業大学) 安 部 井 上 寛(ノースアジア大学) 菊 教 (元岩手県立福岡工業高校) 池 義 木 村 裕(秋田大学) 弘 (岩手県立水沢工業高校) 佐々木 貴 佐々木 栄 洋 (株式会社栄組) 杉田 一(八戸工業大学名誉教授) 修 外]][広 (盛岡市役所) 明 龍 濹 正. 美(学校法人龍沢学館) 中 村 正(株式会社ネクサス) 端 孝 (ノースアジア大学) 道 忠 正 昭 (岩手大学) 南 宮 井 久 男(岩手県立大学宮古短期大学部) Ш 添 勝(山添計画工房) 米 正(東北福祉大学) 谷 光 (7) 監 事 部 不 顕(西松建設㈱) 团 男 (株日刊岩手建設工業新聞社) 佐々木 玉

観光まちづくり学会委員会

1 学術論文審査委員会:委員長安藤昭

委員 内藤敏 船水 正雄 井上 寛

大泉 剛 及川 立一 梶田 敬仁

2 学会誌編集委員会:委員長 中村 正

副委員長 安部 信行

委 員 菊池 義教

3 学術研究委員会:委員長 芥川 一則

委 員 塚野 加奈子

事務局体制

事務局長 佐々木康勝

事務局次長 沖野 健悦

事務局員 小野寺 淳 佐々木栄洋 佐々木貴弘 石川 英俊

学会本部所在地

〒031-8501 八戸市妙字大開 88-1

八戸工業大学 長谷川研究室

TEL 0178-25-8075 FAX 0178-25-8075

E −mail: hasegawa@hi-tech.ac.jp

北海道支部所在地

〒062-8607 札幌市豊平区豊平6条6丁目10番

北海商科大学 細野研究室

TEL 011-841-1161 (内線 8236) FAX 011-824-0801

E −mail: hosono@hokkai.ac.jp

本部事務局所在地:

〒020-0122: 岩手県盛岡市みたけ4丁目4-20

(社) 岩手県土木技術センター内 観光まちづくり学会

TEL019-643-8890 FAX019-643-8892

E-mail:office@kankou-m.jp

法人会員名簿(平成25年度) 50音順 郵便番号 法人名 住 所 電 話 (社) 岩手県土木技術センター 020-0122 盛岡市みたけ4-4-20 019-643-8890 (株) 共同地質コンパニオン 020-0812 盛岡市川日11-4-2 019-653-2050 専門学校 020-0025 盛岡市大沢川原3-1-18 019-651-5001 盛岡カレッジオブビジネス (株) 東開技術 023-0025 奥州市水沢区高網33 0197-24-1311

観光まちづくり学会 研究発表開催校 (開催地)

□	開催日	開催校(開催地)	実行委員長
1	平成 14 年 5 月 25 日	アセンブラ・オクト (岩手県松尾村)	岩手大学 教 授 安藤 昭
2	平成 15 年 10 月 4 日	秋田経済法科大学 (秋田市)	秋田経済法科大学 教 授 道端 忠孝
3	平成 16 年 10 月 9 日	東北福祉大学 (仙台市)	東北福祉大学 教 授 米谷 光正
4	平成 17 年 10 月 15 日	八戸工業大学 (八戸市)	八戸工業大学 教 授 長谷川 明
5	平成 18 年 10 月 21 日	山形大学 (鶴岡市)	山形大学 教 授 前川 勝朗
6	平成 19 年 9月 19日	福島高等工業専門学校 (いわき市)	福島高等工業専門学校 准教授 芥川 一則
7	平成 20 年 11 月 23 日	岩手大学 (奥州市)	岩手大学 准教授 南 正昭
8	平成 21 年 10 月 17 日	ノースアジア大学 (秋田県八峰市)	ノースアジア大学 教 授 道端 忠孝
9	平成 22 年 10 月 23 日	八戸工業大学 (八戸市)	八戸工業大学 教 授 長谷川 明
1 0	平成 23 年 10 月 8 日	東北福祉大学 (仙台市)	東北福祉大学 教 授 米谷 光正
1 1	平成 24 年 10 月 27 日	福島高等工業専門学校 (いわき市)	福島高等工業専門学校 准教授 芥川 一則
1 2	開催予定 平成 25 年 10 月 26 日	岩手大学 (盛岡市)	NPO 都市デザイン総合研究センター理事 岩手大学名誉教授 安藤 昭

編集後記

東日本大震災から28ヶ月経ちました。いまだビジョン(復興の道筋)を定めきれず、や みくもな復旧作業に奔走しているように思えます。

復興ビジョンがプラグマティック (現実主義的) であることを否定はしませんが、肯定 するには抵抗があります。

科学から哲学、そして芸術、さらには世俗的要素などさまざまを内包する『観光まちづくり』の思想を受ける復興ビジョンに出会っていないからかもしれません。

『観光まちづくり』は復興ビジョンの主要な柱になると考えている。 早急な参画を提案したいと思います。

会員各位、この学会誌を手にした慧眼の諸氏、『観光まちづくり』を復興ビジョンの柱にすべきと大いに提唱しましょう。

発表の場の一つにこの学会誌もあります。多くの投稿を期待いたします。

学会誌編集委員長 中村 正 副委員長 安部 信行

観光まちづくり学会誌

平成25年3月21日

観光まちづくり学会誌編集委員会

委員長:中村 正 副委員長:安部信行 編集委員:菊池義教

発行所: 観光まちづくり学会

〒020-0122: 岩手県盛岡市みたけ4丁目4-20

(社) 岩手県土木技術センター内 観光まちづくり学会

E-mail: office@kankou-m.jp

印刷所: 中外印刷株式会社

TEL 0178-44-1447 FAX 0178-43-2848